

平成28年度

事業報告書

公益財団法人 大阪府文化財センター

事業報告書目次

I 一 般 庶 務-----	1
II 埋 蔵 文 化 財 調 査 事 業-----	2
III 文 化 財 資 料 活 用 事 業-----	7
IV 大 阪 府 立 弥 生 文 化 博 物 館 事 業-----	13
V 大 阪 府 立 近 つ 飛 鳥 博 物 館 事 業-----	32
VI 泉 佐 野 市 立 歴 史 館 い ず み さ の 事 業-----	51
VII 日 本 民 家 集 落 博 物 館 事 業-----	60

平成28年度 事業報告

I 一般庶務

1. 理事会及び評議員会開催状況

平成28年度中、下表のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認または可決された。

年月日	会議名称	場所	議案
平成28年6月2日	第1回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成27年度事業報告及び収支決算について 2.定時評議員会の招集事項について
平成28年6月20日	定時 評議員会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.平成27年度事業報告及び収支決算について 2.理事の選任について 3.評議員の選任について
平成28年6月20日	第2回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.理事長(代表理事)の選定について 2.平成28年度 補正予算書(案)について
平成28年11月18日	第3回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2.平成28年度事業の進捗について 3.平成28年度第二次補正予算書(案)について 4.各博物館指定管理の申請について
平成29年3月24日	第4回理事会	公益財団法人 大阪府文化財センター 1階講義室	1.代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告 2.平成28年度第三次補正予算書(案)について 3.平成29年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)について 4.控除対象財産へ位置づけを替える特定資産について

2. 役員・評議員の異動状況

年月日	就任	辞任	
		理事	評議員
平成28年6月20日		理事	河村 直樹
平成28年6月20日	代表理事	田邊 征夫	
平成28年6月20日	理事	井藤 徹	
平成28年6月20日	理事	今井 渉	
平成28年6月20日	理事	大丸 一 (新任)	
平成28年6月20日	理事	黒崎 直	
平成28年6月20日		評議員	首藤 修一
平成28年6月20日	評議員	高崎 政勝 (新任)	

Ⅱ 埋蔵文化財調査事業

1. 調査事業

大阪府内における埋蔵文化財の発掘調査、出土遺物の整理等の事業を下記の通り実施した。

① 国土交通省 近畿地方整備局 大和川河川事務所が施行する大和川改修事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
船橋遺跡(6)〔調査・整理〕	11,666,000	211	柏原市

② 国立研究開発法人 国立循環器病研究センターが施行する国立循環器病研究センター建替整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
明和池遺跡〔報告書印刷〕	279,000	0	摂津市

③ 国立研究開発法人 国立循環器病研究センターが施行する国立循環器病研究センター建替整備事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡〔調査・整理〕	24,691,000	4,253	吹田市

④ 西日本高速道路株式会社 関西支社 新名神大阪東事務所が施行する高速自動車国道近畿自動車道名古屋神戸線(八幡～高槻)建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
高槻市梶原中村・上牧地区〔試掘〕	6,208,000	99	高槻市
鵜殿遺跡・枚方市西船橋地区 他 〔確認・試掘〕	6,062,000	101	高槻市・枚方市
招提北代遺跡〔調査・整理〕	34,160,000	256	枚方市

⑤ 西日本旅客鉄道株式会社 大阪工事事務所が施行する摂津富田・茨木間新駅設置工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
総持寺遺跡(2)〔調査・整理〕	8,490,000	216	茨木市

- ⑥ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する主要地方道西
京高槻線B P道路改良事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
高槻市梶原地区〔試掘〕	1,919,000	14	高槻市
梶原寺跡〔調査〕	4,078,000	215	高槻市

- ⑦ 大阪府都市整備部 茨木土木事務所（新名神関連事業建設事業所）が施行する一般国道170
号（十三高槻線）道路築造事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
井尻遺跡(2)〔調査・整理〕	15,372,000	573	高槻市

- ⑧ 大阪府都市整備部 八尾土木事務所が施行する寝屋川水系改良事業（一級河川恩智川法善寺
多目的遊水地）地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大県郡条里遺跡(3)・山ノ井遺跡 〔報告書印刷〕	178,500	0	柏原市
大県郡条里遺跡(4)・山ノ井遺跡(2) 〔調査・整理〕	7,268,000	196	柏原市

- ⑨ 大阪府都市整備部 鳳土木事務所が施行する都市計画道路池上下宮線建設事業地内の発掘
調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群(3) 〔調査・整理〕	4,598,000	171	和泉市

- ⑩ 大阪府住宅まちづくり部 住宅設計課が施行する大阪府営瓜破西（第4・5期）住宅（建て
替え）建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
瓜破北遺跡(3・4)〔整理〕	21,365,000	0	大阪市平野区

- ⑪ 地方独立行政法人 大阪府立病院機構が施行する重粒子線がん治療施設整備運営事業地内
の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
大坂城跡・難波宮跡〔報告書印刷〕	1,044,000	0	大阪市中央区

- ⑫ 大阪広域水道企業団事業管理部 東部水道事業所が施行する藤井寺長吉バイパス送水管整備工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
川北遺跡 (3)〔調査〕	5,478,000	569	藤井寺市

- ⑬ 茨木松下開発特定目的会社が施行する(仮称)茨木市松下町物流施設建設工事事業地内の発掘調査(委託者 安西工業株式会社 大阪支店)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
郡遺跡・倍賀遺跡〔調査・整理〕	58,528,000	16,360	茨木市

- ⑭ 近鉄不動産株式会社・大和ハウス工業株式会社・名鉄不動産株式会社 共同企業体(代表企業 近鉄不動産株式会社)が施行する(仮称)摂津市千里丘新町(7街区)中高層住宅建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
明和池遺跡〔調査・整理〕	33,971,000	2,339	摂津市

- ⑮ J R西日本不動産開発株式会社が施行する吹田操車場跡地開発事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
吹田操車場遺跡〔整理〕	13,457,000	0	吹田市

- ⑯ 吹田ロジスティック特定目的会社が施行する(仮称)GLP吹田 物流施設建設工事事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
中ノ坪遺跡〔整理〕	20,399,000	0	吹田市

- ⑰ 学校法人 関西外国語大学が施行する関西外国語大学新キャンパス建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
禁野本町遺跡〔整理〕	46,366,000	0	枚方市

- ⑱ 京阪電鉄不動産株式会社が施行する星田北二丁目土地区画整理事業地内の発掘調査(委託者 株式会社イビソク 大阪営業所)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
坊領遺跡〔調査〕	3,811,000	1,203	交野市

- ⑱ パナソニック株式会社が施行する松下幸之助 歴史館新築工事事業地内の発掘調査 (委託者 株式会社 竹中工務店 大阪本店)

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
西三荘遺跡 [調査・整理]	4,275,000	136	門真市

- ⑳ RW4 特定目的会社が施行する大型物流施設建設事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
津堂遺跡 [整理]	11,482,000	0	藤井寺市

- ㉑ 株式会社 竹中土木 大阪本店が業務代行者として施行する松原市天美東土地区画整理事業地内の発掘調査

遺 跡 名	委託金額 (円)	面積 (㎡)	所 在 地
池内遺跡 [調査・整理]	26,299,000	4,405	松原市

<平成28年度調査事業総計>

受託件数 25件 (平成27年度 28件)
 委託金額 371,444,500円 (平成27年度 701,470,000円)
 調査面積 31,317㎡ (平成27年度 89,865㎡)

(平成23年度 受託件数 30件 調査面積 73,521㎡)

(平成24年度 受託件数 35件 調査面積 76,041㎡)

(平成25年度 受託件数 32件 調査面積 31,542㎡)

(平成26年度 受託件数 30件 調査面積 39,384㎡)

2. 技術支援

大阪府外で実施された下記の埋蔵文化財発掘調査について、調査主体である各法人からの依頼に基づいて職員を出向させ、技術支援を行った。

- ① 公益財団法人 岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが実施する東日本大震災復興
 関連事業地内の発掘調査 (平成25年度～) 1名
 高根(こうね)遺跡・根井沢穴田(ねいさわあな)IV遺跡 【宮古市】

- ② 公益財団法人 かながわ考古学財団が実施する新東名高速道路建設事業地内の発掘調査
4～9月 1名, 10～3月 5名
横野山王原遺跡・菩提谷戸尻(やとじり)遺跡・菩提横手遺跡・戸川諏訪丸遺跡・
戸川稲荷木遺跡 【秦野市】
- ③ 公益財団法人 京都市埋蔵文化財研究所が実施する京都市新庁舎整備事業等公共事業地
内の発掘調査 2名
寺町旧域(妙満寺跡)・平安京右京七条一坊二・七・八町跡
- ④ 公益財団法人 鳥取県教育文化財団が実施する一般国道9号(鳥取西道路)建設事業地内
の発掘調査(平成21年度～) 2名
松原田中遺跡・金沢坂津口遺跡・下坂本清合(せいごう)遺跡 【鳥取市】

Ⅲ 文化財資料活用事業

文化財の資料活用を図るため、平成28年度は次の事業を実施した。

1. 文化財講演会事業

(1) 講演会事業として、シンポジウム・講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	参加人数	備 考
10月1日	「キリシタン墓の発掘調査-千提寺西遺跡-」	一般	弥生文化博物館	83	秋季特別展 「キリシタン墓の発掘調査」
10月14日	「新名神高速道路の調査で発掘された弥生から中世のお墓」	一般	弥生文化博物館	83	秋季特別展 「キリシタン墓の発掘調査」
10月27日	兵どもの夢の跡-樫井古戦場と熊野古道-	一般会員	泉佐野市内	7	「いずみさの歴史ウォーク」 歴史館いずみさの・近鉄文化サロンと共催
11月10日	佐野町場迷宮案内	一般会員	泉佐野市内	5	「いずみさの歴史ウォーク」 歴史館いずみさの・近鉄文化サロンと共催
11月12日	「最新の大坂城跡発掘調査成果」	一般	弥生文化博物館	27	スポット展示「大坂城の小さきモノたち-最新調査成果とかわいらしい土製品-」
1月14日	「大和川今池遺跡の調査成果」	一般	大阪府立狭山池博物館	26	大阪府立狭山池博物館共催
1月21日	「成合遺跡の弥生時代集落」	一般	高槻市立今城塚古代歴史館	92	冬季特別展「高槻丘陵の遺跡」
2月4日	「ふたつの飛鳥の古代寺院」	一般	LIC はびきの	630	近つ飛鳥博物館 シンポジウム 「近つ飛鳥と遠つ飛鳥-ふたつの飛鳥の古代史-」

計 953 名

(2) 外部団体からの依頼を受けて、講演会等を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	会 場	備 考	参加人数
4月16日	「復興の歴史を掘る」洪水からの復興～弥生時代	一般	東京江戸博物館	春期えどはくカルチャー企画展「発掘された日本列島2016」関連講座	180
7月7日	「女王卑弥呼と堺」	一般	堺市立女性センター	堺自由の泉大学「歴史探訪と考古学講座」	28
3月25日	「吹田操車場遺跡・明和池遺跡の調査成果」	一般	摂津市コミュニティプラザ	吹田操車場遺跡・明和池遺跡の保存と活用を考える市民の会 学習講演会	10

計 218 名

2. 現地説明会・現地公開事業

現地説明会・現地公開等は次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
4月16日	明和池遺跡現地説明会	一般	摂津市	171
1月29日	郡・倍賀遺跡現地説明会	一般	茨木市	1,184
3月6日	坊領遺跡現地公開	一般	交野市	169

計 1,524名

3. 文化財体験学習事業

(1) 子ども向けの体験事業を次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
7月3日	「はにわ貯金箱を作ろう」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	36
8月12日	「手すきハガキをつくろう」	一般（子ども向け）	近鉄百貨店「まなぼスタジオ」	35

計 71名

(2) 体験学習等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数
8月7日 ～8月5日	夏季集中講座 「考古学入門」	大阪府立 今宮高校2年生	吹田操車場遺跡、郡・倍賀遺跡、弥生文化博物館	11
10月13日	古代日本史研究旅行 「考古学体験」	東京都私立 和光高校2年生	郡・倍賀遺跡、弥生文化博物館	23

計 34名

(3) 発掘現場等の見学等の受け入れを次のとおり実施した。

実施月日	内 容	対象者	場 所	参加人数	備 考
12月1日	発掘現場見学・土器に触れよう	松原市立 天美北小学校	池内遺跡	104	
12月9日	発掘現場見学・土器に触れよう	茨木市立 畑田小学校	郡・倍賀遺跡	100	
3月6日	発掘現場見学	交野市立 藤が尾小学校	坊領遺跡	126	

計 330名

4. 文化財展示事業

(1) 博物館等と連携し、次の展示会等に協力した。

実施年月日	内 容	対象者	会 場	備 考
12月17日～ 1月22日	「大和川今池遺跡の調査成果展」	一般	大阪府立 狭山池博物館	大阪府教育委員会・ 大阪府立狭山池博物館共催

5. 文化財広報事業

(1) 当センターの事業年報（26年度・27年度）の編集・刊行した。

(2) ホームページにより当センター情報を提供した。

インターネットを通じて、当センターの発掘・調査、イベント、出版等に関する情報を一般に公開し、より一層文化財の普及を図った。当センターが開催した諸行事に関する情報及び現地説明会・現地公開資料等をホームページに掲載公開した。

(3) 「関西考古学の日」へ参加した。

「関西考古学の日」は、全国埋蔵文化財法人連絡協議会近畿ブロックが、各財団の普及事業に関する情報を集約し、効率的・効果的に市民に発信することを目的として、平成20年度を初回として実施したものである。平成27年度からは広く小中学生や家族の参加を促すため、7月16日から11月30日の夏休み期間から秋季にかけての期間に設定された。当センターは、パンフレットの編集・作成を担当した。また、大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、泉佐野市立歴史館いずみさのの展覧会情報を掲載した。

6. 文化財研究事業

(1) 近畿ブロック埋文研修会に参加した。

第22回の平成28年度近畿ブロック埋蔵文化財研修会は、(公財)兵庫県まちづくり技術センターが開催法人となり、平成28年11月25日(金)に開催され、当法人職員が出席した。『埋蔵文化財の公開と活用』というテーマで7件の研究発表が行われた。

7. 文化財資料収集整理事業

(1) 文献及び文化財情報の収集・整理

① 平成28年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

購入図書	187冊
研究機関、行政機関等からの寄贈図書	1,340冊
計	1,527冊
累計	90,870冊

② 蔵書データベース、雑誌目次データベースの入力を行った。

蔵書データベースは総計90,800レコード。

(2) 発掘調査資料の管理

遺物・写真・図面・各種台帳等を管理した。

8. 文化財資料提供事業

(1) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出

① 資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり、資料の出品を行った。

貸出先	展覧会名等	出品資料
大阪歴史博物館	「真田丸」	大坂城跡：瓦ほか
近つ飛鳥博物館	「古墳とは何か －葬送儀礼からみた古墳－」	久宝寺遺跡：土師器ほか

大阪歴史博物館	「都市大阪の起源をさぐる 難波宮前夜の王権と都市」	大坂城跡、小阪遺跡、野々井西遺跡、大庭寺遺跡、伏尾遺跡：鑄造遺物、須恵器製作関連遺物ほか
韓国 福泉博物館	「日本古代文化への招待」	大庭寺遺跡、三田古墳：須恵器ほか
弥生文化博物館	「鉄の弥生時代-鉄器は社会を変えたのか? -」	滑瀬遺跡、亀井遺跡、久宝寺遺跡、大尾遺跡、八尾南遺跡：石器ほか
歴史館いずみさの	『卑弥呼の時代と泉州 -拠点集落「下田遺跡」を探る-』	下田遺跡、湊遺跡、：銅鐸・弥生土器ほか
柏原市立歴史資料館	「まじなう」	讃良郡条里遺跡：人面土器、絵馬
近つ飛鳥博物館	「古代人がみた色と光 -色彩と輝きの考古学-」	城山6号墳、亀井遺跡、三田古墳、巨摩遺跡、下田遺跡、駒ヶ谷遺跡、溝咋遺跡：銅鐸、木製品、奈良三彩ほか
近つ飛鳥博物館	「大王と豪族 -6世紀の大和と河内-」	セツ門古墳、山賀古墳、蔵塚古墳：耳環、須恵器、円筒埴輪ほか
弥生文化博物館	「キリシタン墓とその前史 -摂津の人々が生きた証-」	千提寺南遺跡、千提寺市阪遺跡、千提寺西遺跡：縄文土器、ガラス小玉、土人形ほか
石川県輪島漆芸美術館	「漆碗の世界-時代碗と輪島塗碗-」	大坂城址：漆器碗
四條畷市立歴史民俗資料館	「ヒスイのきらめき-北河内からみた交流と縄文のまつり-」	高宮遺跡、有池遺跡、上の山遺跡、私部南遺跡、讃良郡条里遺跡：ヒスイ原石、縄文土器ほか、
高槻市立今城塚古代歴史館	『高槻丘陵の遺跡 -古首部・芝谷遺跡の最新成果-』	成合遺跡、成合地獄谷遺跡、金龍寺境内内跡、梶原西遺跡：土師器・須恵器、円面硯ほか
尼崎市立田能資料館	「弥生のガラス」	巨摩遺跡、新家遺跡、西岩田遺跡、久宝寺遺跡：ガラス小玉、滑石製小玉ほか
弥生文化博物館	「大坂城の小さきモノたち -犬形土製品と泥面子-」	大坂城跡：犬形土製品、泥面子ほか
近つ飛鳥博物館	「歴史発掘おおさか 2016 -大阪府発掘調査最新情報-」	吹田操車場遺跡：須恵器ほか
松原市教育委員会	「文化財ミニ展示」	池内遺跡：石庖丁、石鏃ほか
国立民族学博物館	「ビーズ -つなぐ かざる みせる -」	久宝寺遺跡、太秦遺跡、三田古墳：獣形勾玉、ヒスイ勾玉、ガラス製丸玉

等 19 件

計

776 点

② 常設資料の出品

博物館等からの依頼を受けて下記のとおり常設展示の資料の出品を行った。

大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立狭山池博物館、泉佐野市立歴史館いずみさの、和泉市立いずみの国歴史館、堺市博物館、堺市立みはら歴史博物館、吹田市立博物館、太子町立竹内街道歴史資料館、舞鶴市立赤れんが博物館

計 10 件 277 点

③ 写真資料の貸出

行政機関の他、出版社等からの依頼を受けて下記のとおり貸出掲載した。

大阪府立弥生文化博物館、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立狭山池博物館、九州国立博物館、(独)

奈良文化財研究所、大阪歴史博物館、滋賀県立安土城考古資料館、天理大学附属天理参考館、高槻市立しろあと歴史館、石川県輪島漆芸美術館、柏原市立歴史資料館、(公財)滋賀県文化振興事業団、大分県教育庁埋蔵文化財センター、吹田市、茨木市、四條畷市、大阪市、豊岡市、堺市、赤磐市、藤井寺市、尼崎市立田能資料館、摂南大学、揚輝荘の会、UR都市再生機構、京都大学学術出版会、雄山閣、宮帯出版社、平凡社、新泉社、朝日新聞出版、NHK出版、オフィスイデオム、ブルームーン、パピヨン・マジック、東京法令出版、洋泉社、他、テレビ局等

計 54 件 256 点

(2) 出版物の寄贈・交換

関係団体等、行政機関、研究機関等に対して当センターの刊行出版物を寄贈配付した。

(3) 図書の出版・販売

① 図書の出版

平成28年度は、下記の図書を出版した。

- 1 「明和池遺跡4」 第267集
- 2 「大県郡条里遺跡3・山ノ井遺跡」 第268集
- 3 「大坂城跡7」 第269集
- 4 「吹田操車場遺跡12」 第270集
- 5 「伯太藩陣屋跡・信太千塚古墳群」 第271集
- 6 「西三荘遺跡」 第272集
- 7 「津堂遺跡」 第273集
- 8 「吹田操車場遺跡13」 第274集
- 9 「船橋遺跡5」 第275集
- 10 「井尻遺跡2」 第276集
- 11 「中ノ坪遺跡」 第277集
- 12 「招提北代遺跡」 第278集
- 13 「年報」 平成26年度
- 14 「年報」 平成27年度
- 15 「大阪文化財研究」 第48集
- 16 「大阪文化財研究」 第49集
- 17 「大阪文化財研究」 第50集
- 18 「上垣内遺跡II」
- 19 「西福井遺跡」
- 20 「水越遺跡・太田川遺跡」
- 21 「尺度遺跡」
- 22 「瓜破北遺跡IV」
- 23 「大和川今池遺跡」
- 24 「大阪府教育委員会文化財調査事務所年報19」

※18 から 24 については大阪府教育委員会刊行物の増刷である。

② 図書の販売

平成28年度は、次のとおり販売した。

販売総数 893冊

9. 保存処理事業

(1) 平成28年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連	木製品	整理・点検	200点
大坂城遺跡	木製品	整理・点検	200点
讃良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
大坂城跡4	木製品	PEG-FD処理	100点
大坂城址Ⅲ	木製品	PEG-FD処理	100点
大坂城跡6	木製品	PEG-FD処理	90点
大坂城跡7	木製品	PEG-FD処理	150点
有池遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
玉櫛遺跡	木製品	PEG-FD処理	50点
井尻遺跡	木製品	PEG-FD処理	10点
大坂城跡4	金属遺物	アクリル樹脂処理	10点
ミノバ石切場跡遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	40点
成合地獄谷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	100点
千提寺西遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	40点
花屋敷遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	1000点
井尻遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	100点
中ノ坪遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ20箱
吹田操車場14遺跡	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ5箱
明和池遺跡15-2	植物遺体	分類・鑑定	コンテナ1箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属遺物150点

PEG: ポリエチレングリコール FD: 真空凍結乾燥を示す。

10. 文化庁補助金事業

文化庁による補助金事業である「地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」を受け、実施した。

(1) 弥生文化博物館

館キャラ連携プロジェクト実行委員会の中核館として、「マスコットキャラクターの活用・連携による幅広い学習機会の提供とポータルミュージアム構想推進事業」を実施した。遺跡&博物館ガイド「博物館へ行こう」・「遺跡へ行こう」を作成し、利用者や関係機関に配付した。ICタグを利用した展示巡回システムを構築し、当館常設展示室において試行した。

【補助事業費：9,515,000円】

(2) 近つ飛鳥博物館

「大阪府立近つ飛鳥博物館 親から子へ伝える、近つ飛鳥の歴史遺産価値創造事業」を実施した。近つ飛鳥の歴史遺産事業実行委員会を組織し、博物館の所在する「近つ飛鳥」地域の歴史的重要性を広く周知するため、以下の事業を実施した。遺跡検索プログラムの作成・公開、シンポジウムの実施、小冊子『近つ飛鳥への招待』の刊行・配付、史跡見学マップ『近つ飛鳥をあるく』の刊行・配付、連続講座全7回の開催。

【補助事業費：5,077,000円】

IV 大阪府立弥生文化博物館事業

1. 常設展示

(1) 第1展示室

「目で見る弥生文化」は、タイムトンネルと実物大の竪穴住居からなる導入ゾーン、「米づくりの始まり」、「新しい技術の誕生」、「ムラ・戦い・クニ」、「弥生人」、「交流」、「死とまつり」の6つのテーマゾーン、鏡を掲げ持つ卑弥呼像を中心に、卑弥呼の時代前後の鏡と卑弥呼ゆかりの復元品を展示するシンボルゾーンの3つのゾーンで、弥生文化をビジュアルに展示した。

なお、展示室前の「弥生プラザ」は、各地の弥生文化を代表する遺跡から出土し、注目される資料を展示するコーナーである。

<弥生プラザ展示>

「西を向くムラ、東を向くムラ 和泉における“卑弥呼の時代”の外来系土器

平成28年1月16日(土)～平成28年6月26日(日)

「発見された粘土探掘穴 池田市柳原遺跡」平成28年7月5日(火)～平成29年1月31日(火)

「発見された縄文のムラ 河内長野市鳩原遺跡」平成29年2月1日(水)～ 展示中

(2) 第2展示室

「池上曾根ワールド」と題して、国史跡池上曾根遺跡から出土した資料を展示し、博物館周辺の弥生遺跡マップを設置した。

2. 特別展企画展事業

(1) 春季特別展「鉄の弥生時代—鉄器は社会を変えたのか?—」 【入館者数:11,506名 230名/日】

ア. 開催概要 鉄の道具は稲作や青銅器とともに、弥生時代の象徴、といえるもので弥生人の生活に革命をもたらした。しかし、土中で錆びて消滅する、また新たにリサイクルすることができるという鉄の性質から、出土鉄器の評価には難しさが存在する。たとえば、近畿地方は鉄器の出土が少ないにもかかわらず、「見えざる鉄器」として多数の鉄器の保有、そしてそれを可能にした「国力」が推測されてきた。さまざまな弥生時代の鉄の問題をどう理解していくか。鉄だけでなく、石、木といった深くかかわる素材も合わせて、最初の鉄器、石器から鉄器への変化、鉄器の生産技術、権力者の鉄などの側面から考えた。

イ. 開催期間 平成28年4月23日(土)～6月19日(日) 【会期:50日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

4月30日(土)108名、5月14日(土)72名、5月28日(土)61名、

6月11日(土)114名

【参加者数:計355名】

(2) 夏季特別展「世界の文字の物語—ユーラシア 文字のかたち—」

【入館者数:10,998名 220名/日】

ア. 開催概要 私たちがふだん何気なく読み書きする文字だが、現在世界中で使用されている多様な文字

の歴史をみると、わずか数種のルーツにたどりつく。本展では、文明が誕生したところの中近東、エジプトからシルクロード、そして日本列島まで、ユーラシア大陸世界の文字がたどった数奇な運命と、その5000年にわたる歴史をたどった。

イ. 開催期間 平成28年7月9日(土)～9月4日(日) 【会期：50日間】

ウ. 印刷物 図録、リーフレット

エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

7月16日(土) 87名、7月30日(土) 23名、7月31日(日) 28名、

8月6日(土) 34名、8月13日(土) 89名、8月14日(日) 23名、

8月20日(土) 25名、8月21日(日) 117名、8月27日(土) 118名、

8月30日(火) 46名、9月1日(木) 35名、9月4日(日) 計2回119名

【参加者数：計744名】

(3) 秋季企画展 「キリシタン墓とその前史―摂津の人びとが生きた証―」

【入館者数：14,288名 179名/日】

ア. 開催概要 大阪を考古学的に読み解く「摂河泉シリーズ」第3弾である。大阪北部の摂津地域では、旧石器時代から中近世まで、多岐にわたる人びとの生活の痕跡が発掘されている。特にキリシタン関係の遺構・遺物は、彼らの歴史を知るうえで重要な位置を占めている。本展では、近年の発掘・研究成果を踏まえ、人びとが生きた証である「墓」を中心に摂津の歴史に迫った。

イ. 開催期間 平成28年9月24日(土)～12月25日(日) 【会期：80日間】

ウ. 印刷物 図録

エ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。

10月1日(土) 29名、10月15日(土) 15名、11月5日(土) 14名、

11月26日(土) 14名、12月10日(土) 43名、12月24日(土) 32名、

【参加者数：合計147名】

(4) 冬季企画展 「なにわの伝統工芸―受け継がれゆく匠の技と美―」

【入館者数：7,155名 140名/日】

ア. 開催概要 大阪府指定無形文化財保持者、木工芸・茶の湯釜・鍛金の4人の作家の作品を展示した。優れた技と高い芸術性を兼ね備えた美しさは、来館者に日本伝統工芸の素晴らしさを伝え、大阪でその技術が根付いていることを知ってもらおうきっかけとなった。

イ. 開催期間 平成29年1月21日(土)～3月20日(月祝) 【会期：51日間】

ウ. 印刷物 リーフレット

エ. 展示解説 特別展示室において作家と展示担当による展示品解説を実施した。

2月4日(土) 16名、2月11日(土) 40名、2月19日(日) 19名、3月4日(土) 37名

【参加者数：合計112名】

(5) その他展示事業

① スポット展示「大坂城の小さきモノたち―犬形土製品と泥面子―」 【観覧者数：11,286名】

ア. 開催概要 大坂城跡から出土した「小さな土製品」に焦点をあて、その最新の資料を含めて展示した。

イ. 開催期間 平成28年10月22日(土)～12月25日(日)

【会期：56日間】

ウ. 場所 2階特別展示室前

3. 講演会事業等

(1) 春季特別展「鉄の弥生時代—鉄器は社会を変えたのか?—」関連

① 考古学セミナー

4月30日(土)「ユーラシア大陸における鉄の発展史と弥生時代の鉄」 【参加者数：332名】

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター 村上恭通

5月14日(土)「列島における弥生時代の鉄—さまざまな議論のある畿内地域の鉄器化を中心に—」

文化庁文化財部記念物課 禰宜田佳男 【参加者数：289名】

5月28日(土)「五斗長垣内遺跡にみる弥生時代の鉄器生産—発掘調査と鍛冶実験で見てきたこと—」

淡路市教育委員会 伊藤宏幸 【参加者数：241名】

6月11日(土)「弥生の鉄、マクロ・ミクロの世界から材質・履歴を考える」 【参加者数：320名】

日鉄住金テクノロジー株式会社 大澤正己

(2) 夏季特別展「世界の文字の物語—ユーラシア 文字のかたち—」関連

① 考古学セミナー

7月16日(土)「ヒッタイト人の“愛”を探る／楔形文字」 【参加者数：170名】

京都大学文学部非常勤講師 山本 孟

8月13日(土)「日本古代の“木簡文化”」 【参加者数：233名】

大阪大学文学研究科日本史学准教授 市 大樹

8月21日(日)「“神の言葉”が語る古代エジプト／ヒエログリフ」 【参加者数：290名】

古代オリエント博物館研究員 田澤恵子

8月27日(土)「“亀甲獣骨”に刻まれた信仰／甲骨文字」 【参加者数：290名】

立命館大学白川静記念東洋文字文化研究所客員研究員 落合淳思

② 関連ワークショップ

7月16日(土) 「古代文字ワークショップ 楔形文字」 【参加者数：27名】

8月21日(日) 「古代文字ワークショップ ヒエログリフ」 【参加者数：30名】

(3) 秋季企画展「キリシタン墓とその前史—摂津の人びとが生きた証—」関連

① 考古学セミナー

10月1日(土)「キリシタン墓の発掘調査—千堤寺西遺跡—」 【参加者数：83名】

公益財団法人大阪府文化財センター主査 合田幸美

10月15日(土)「新名神高速道路の調査で発掘された弥生から中世のお墓」 【参加者数：83名】

公益財団法人大阪府文化財センター技師 笹栗 拓

11月5日(土)「キリシタン墓研究最前線—九州と関西の違いからわかること—」 【参加者数：103名】

別府大学文学部史学・文化財学科教授 田中裕介

11月26日(土)「田原レイマンと河内のキリシタン」 【参加者数：105名】

四條畷市立歴史民俗資料館館長 野島 稔

12月10日(土)「高山右近とキリシタン墓」 【参加者数：146名】

高槻市立しろあと歴史館学芸員 中西裕樹

12月24日(土)「大阪府茨木市千提寺キリシタンの研究」 【参加者数：164名】

元財団法人大阪府文化財センター職員 井藤暁子

(4) 冬季企画展「なにわの伝統工芸－受け継がれゆく匠の技と美－」関連

① 講演会

2月4日(土) 「考古学からみた漆工の歴史」 当館学芸員 井ノ上佳美 【参加者数：78名】

「古代の木工技術」 当館館長 黒崎 直

2月19日(土) 「考古学からみた金工の歴史」 当館学芸員 井上知花 【参加者数：79名】

「古代の金工技術」 公益財団法人大阪府文化財センター 新海正博

②作家(大阪府指定無形文化財保持者)と展示担当による座談会

2月11日(土祝) 「技を語る(木工芸・鍛金)」 藤寄一正/三好正豊 【参加者数：83名】

3月4日(土) 「技を語る(茶の湯釜)」 角谷征一/角谷勇圭 【参加者数：57名】

(5) スポット展示「大坂城の小さきものたち－犬形土製品と泥面子－」関連

講演会&ミニシンポジウム 11月12日(土) 【参加者数：27名】

－最新発掘調査成果と、かわいらしい土製品－

講演①「最新の大坂城発掘調査成果」 公益財団法人大阪府文化財センター調査課 後藤信義

講演②「犬形土製品－手づくね作りからわかること－」 当館学芸員 井ノ上佳美

講演③「江戸時代の遊戯－泥面子について－」 当館学芸員 井上知花

討論・寸劇 後藤信義・井ノ上佳美・井上知花・瀬尾晶太(当館学芸員)

(6) 弥生プラザ展示「西を向くムラ、東を向くムラ 和泉における「卑弥呼の時代」の外来系土器」関連

ミニシンポジウム 4月9日(土) 【参加者数：179名】

講演①「“卑弥呼の時代”頃の大津川周辺の集落について」 大阪府教育庁 三木 弘

講演②「古墳出現期にみる近畿と吉備、そして和泉」 当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

講演③「古墳時代開始期前後の地域間交流－和泉地域を中心に－」 大阪府教育庁 三好 玄

パネルディスカッション：三木 弘・秋山浩三・三好 玄

(7) 弥生時代講座 聞いてなっとく弥生の世界(近畿弥生の会との共催)

8月 6日(土) 「絵画土器と弥生人」 【参加者数：72名】

田原本町教育委員会事務局文化財保存課技師 柴田将幹

10月 8日(土) 「弥生時代の戦いと模擬戦」 【参加者数：81名】

神戸市教育委員会学芸員 荒田敬介

12月 3日(土) 「手焙形土器と受口状口縁土器」 【参加者数：61名】

京都府教育庁指導部文化財保護課主任 中居和志

2月18日(土) 「大型掘立柱建物と弥生社会」 【参加者数：81名】

和歌山市教育委員会文化振興課副主査 大木 要

【4回参加者数 計295名】

(8) 弥生博 木曜大学

開館 25 周年にちなんで今季の講義は、当館の過去の展示内容を振り返り、さらにその後の研究成果に迫った。特別展のうち、1日の来館者数が多かったものをランキング形式で紹介した。

テーマ 「弥生博が挑みつづけたベスト 18 (十八番)」

講師 当館館長 黒崎 直 (◇印)、当館副館長 秋山浩三

前期【夏の講義】「カウントダウン ベスト 18~10！」

- | | |
|---------------------------------|-------------|
| 6月2日(木)「弥生文化のはじまりー土井ヶ浜遺跡と響灘周辺ー」 | 【参加者数：167名】 |
| ◇6月9日(木)「激動の3世紀ー古墳誕生の謎ー」 | 【参加者数：199名】 |
| 6月16日(木)「邪馬台国ー九州と近畿ー」 | 【参加者数：191名】 |
| 7月7日(木)「邪馬台国への海の道ー壱岐・対馬の弥生文化ー」 | 【参加者数：225名】 |
| 7月14日(木)「青いガラスの燦きー丹後王国が見えてきたー」 | 【参加者数：203名】 |
| ◇7月21日(木)「卑弥呼誕生ー邪馬台国は畿内にあった？ー」 | 【参加者数：232名】 |
| 8月4日(木)「みちのくの弥生文化」 | 【参加者数：200名】 |
| 8月18日(木)「神々の源流ー出雲・石見・隠岐の弥生文化ー」 | 【参加者数：237名】 |
| 8月25日(木)「弥生人の食卓ー米食事始めー」 | 【参加者数：171名】 |

後期【秋・冬の講義】「カウントダウン ベスト 9~1!!」

- | | |
|---|-------------|
| 10月6日(木)「中国 仙人のふるさとー山東省文物展ー」 | 【参加者数：174名】 |
| ◇10月13日(木)「弥生人の見た楽浪文化」 | 【参加者数：187名】 |
| ◇10月20日(木)「海を見つめた縄文人ー放生津潟とヒスイ海岸ー」 | 【参加者数：172名】 |
| ◇11月10日(木)「渡来人登場(史跡池上曾根遺跡大型建物完成記念)ー弥生文化を開いた人々ー」 | 【参加者数：184名】 |
| 11月17日(木)「弥生の神々ー祭りの源流を探るー」 | 【参加者数：181名】 |
| 11月24日(木)「吉備と邪馬台国ー霊威の継承ー」 | 【参加者数：204名】 |
| 12月1日(木)「卑弥呼の動物ランドーよみがえった弥生犬ー」 | 【参加者数：159名】 |
| 12月8日(木)「卑弥呼の世界」 | 【参加者数：215名】 |
| ◇12月15日(木)「弥生の美(開館記念特別展)ー弥生づくしー」 | 【参加者数：152名】 |

(9) 池上曾根遺跡史跡指定 40 周年記念シンポジウム

巨大環濠集落の実像ー弥生研究と史跡活用のこれからー

12月18日(日) / 会場：桃山学院大学 【参加人数：250名】

基調報告「弥生の大形建物・都市・実年代ー池上曾根からの発信」

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

調査報告「池上曾根遺跡、最新の発掘調査成果から」和泉市教育委員会文化財振興課主任 千葉太朗

記念講演①「吉野ヶ里遺跡の発掘成果と史跡整備」佐賀県立佐賀城本丸歴史館館長 七田忠昭

記念講演②「数値年代から見る弥生文化観」国立歴史民俗博物館副館長 藤尾慎一郎

ディスカッション「弥生研究と史跡活用を考える」

コーディネーター 桃山学院大学准教授 井上 敏

総括 当館館長 黒崎 直

(10) 若き考古学徒、論壇デビュー！

第1回 1月21日(土) 【参加者数:36名】

「古墳副葬品にみる「折り曲げ鉄器」の分析」

大阪市立大学大学院文学研究科日本史学専修前期博士課程1年次生 阿部大誠

「京都府での発掘調査ー若き考古学徒のその後ー」

京都府教育庁指導部文化財保護課技師 桐井理揮

第2回 2月25日(土) 【参加者数:75名】

「古墳時代後期における鉄製環状轡の導入とその展開」

大阪大学大学院文学研究科文化形態論専攻(考古学)博士前期課程1年次生 肥田翔子

「法隆寺献納宝物金銅灌頂幡についての一考察」

関西大学文学部総合人文学科日本史・文化遺産学専修4回生 牛尾冬吾

「泉南市戎畑遺跡を活用した観光地域づくり～阪南大学国際観光学部和泉研究室の取り組み～」

阪南大学国際観光学部国際観光学科3回生 湯栗未名実

第3回 3月11日(土) 【参加者数:66名】

「古墳時代中期における鉄銚について」 大阪大学文学部人文学科考古学専修4回生 平井洸史

「高松塚古墳壁画の視覚的効果について」

関西大学大学院文学研究科日本史学専攻博士課程前期課程1年次生 鈴木七奈

(11) 弥生フェスティバル連続講演会 「ジェンダー考古学と卑弥呼」

3月23日(木) 「性・交合の考古学ー<イヤらしい>という現代感覚は階級社会になってからー」

当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

【参加者数:177名】

3月24日(金) 「卑弥呼的な女性首長ーその後ー」

【参加者数:176名】

神戸女子大学文学部教授 寺沢知子

3月28日(火) 「卑弥呼と飛鳥の女帝」 当館館長 黒崎直

【参加者数:214名】

3月29日(水) 「后妃が王位継承に果たした役割ー継体・欽明朝前後を中心にー」

大阪府立近つ飛鳥博物館館長 白石太郎

【参加者数:204名】

(12) その他

① 5月4日(水祝) 和泉市制施行60周年記念 池上曾根遺跡史跡指定40周年・池上曾根史跡公園開園

15周年記念 あらたなる萌 講演会「池上曾根遺跡40年の歩み」

和泉市教育委員会文化財振興課 千葉太朗

【参加者数:80名】

② 6月12日(日) ミュージアムコンサート関連「ショートレクチャー」

【参加者数:211名】

和歌山大学観光学部非常勤講師 坪井恒彦

③ 9月4日(日) ミニギャラリー関連トークイベント「ユーラシアの世界遺産を旅して」

旅写真家 三田崇博

【参加者数:56名】

④ 11月3日(木祝) 文化の日特別講演会「弥生・古墳時代の支配イデオロギー」【参加者数:218名】

国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学名誉教授 広瀬和雄

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) やよいミュージアムコンサート

エントランスホールでコンサートを実施した。出演者は公募し、その選考はミュージアムコンサート運営委員会が行った。

運営委員：稲本 直（コンサート企画）、田中寛治（社会教育）、西川光子（ピアノ）

- 5月8日（日）『『一新紀元』～歴史を生み出せ！名曲をアレンジ～』 【参加者数：163名】
サククス&ピアノユニット Timo（中地聖子・竿下和美）
- 5月15日（日）「きらめくピアノの調べ～5月のそよ風にのせて～」 【参加者数：166名】
熊谷香織・田中慈子・鎌田純子
- 6月12日（日）「マリンバリズム」 灰谷菜生・笠置昂生・北川桃子 【参加者数：211名】
- 7月3日（日）「音旅～ピアノ&ヴィオラ Duo Concert～」 【参加者数：197名】
永久真里恵・小谷朋子
- 7月24日（日）「低音の世界へ」 山家谷憲司・江嶋真有 【参加者数：186名】
- 9月11日（日）「フルートパーティー」 【参加者数：164名】
フルートアンサンブル エスカル（榎田雅祥ほか20名）
- 9月18日（日）「2台のピアノによるコンサート My Favorite Things」 【参加者数：215名】
土岐和香奈・篠原ちひろ・武田友子・吉田 薫・仲西洋子
- 10月1日（土）トワイライトコンサート「たそがれ Jazz Live 吉田美雅の standard jazz の世界」
吉田美雅・能勢英史・西川サトシ 【参加者数：172名】
- 10月23日（日）「音楽の花束をあなたへ～秋に奏でる～」 【参加者数：216名】
篠永綾香・山田麻惟子・吉里瞳子・星川響子
- 10月30日（日）「箏・三絃・尺八による錦秋コンサート」 【参加者数：124名】
邦楽合奏団「地涌」（菊豊敦子ほか20名）
- 11月6日（日）「音楽物語ドラマ～フルート&ピアノと語りでおくるラブストーリー」
大城杏花・大城梨花 【参加者数：119名】
- 11月20日（日）「遥響～HARUKA～二胡の音色に染まる秋」 【参加者数：241名】
遥響（岸谷宏茂・楠田名保子）
- 12月4日（日）「♥♥♥夢見る DIVA の追憶♥♥♥～歌姫に歌い継がれてきた名曲たち～」 【参加者数：154名】
村田紀子・小島百合子・林 典子
- 12月11日（日）「子どもたちと クリスマスを」 和泉市少年少女合唱団 【参加者数：169名】
- 12月25日（日）「～昭和レトロジャズ～三人娘たちの歌がくれたもの」 【参加者数：252名】
いまむら直子 quartetto
- 1月8日（日）「津軽三味線で寿ぐ新春」 亀谷英明・亀谷達也・亀谷千香子 【参加者数：288名】
- 1月29日（日）「心も体もポッカポカ！楽しいオカリナアンサンブル」 【参加者数：163名】
オカリナアンサンブルびくにつく（竹田正俊・野田佳子・西岡昭彦・田中理子・小川知子）
- 2月5日（日）「古典からロマン派へ～ハイドン/「皇帝」・ロッシーニ/チェロとコントラバスの二重奏ほか」
アンサンブル大阪 【参加者数：275名】
- 2月26日（日）「ヴァイオリンとピアノで奏でる望郷の調べ」 【参加者数：278名】
小野 文・農頭奈緒

3月12日(日)「ロマンスⅣ～前田みねりヴァイオリンコンサート～」

【参加者数:229名】

前田みねり・大槻知世

(2) ミニギャラリー

エントランスホールで絵画等の展示を行った。

① 5月31日(火)～6月11日(土) 「細密筆画・わら筆書展」 【入館者数:2,298名】

② 8月23日(火)～9月4日(日) 三田崇博 世界遺産写真展「ユーラシア世界文化遺産」
【入館者数:2,978名】

③ 2月7日(火)～2月25日(土)「伊丹市昆虫館ときしわだ自然資料館が弥生博にやってきました！」
(共催:伊丹市昆虫館・きしわだ自然資料館)【入館者数:3,846名】

(3) 第21回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

小中学生から弥生時代をイメージした絵を募集し、優秀作品を当博物館エントランスホールで7月30日(土)から8月13日(土)まで展示した。 【入館者数:2,691名】

審査員:小灘一紀(画家・日展評議員)、石橋敏彦(泉大津市立条南小学校校長)

① 応募期間:5月24日(火)～6月26日(日)

② 応募点数:227点

③ 表彰式:7月30日(土) 金賞「卑弥呼の占い」藤原美柚(大阪府立堺聴覚支援学校6年)
金賞「レキシを歴史をこの手に」福田大和(大阪市立小林小学校6年)
銀賞2点、銅賞2点、佳作10点を含む入賞80点

(4) ボランティア活動

ワークショップ協力、展示室巡回、出前授業補助、書庫整理、障がい者来館補助、翻訳等の分野で活動を行った。

【活動日数:161日 協力者数:271名】

4月 道具作り、展示室巡視、出前授業補助、子どもFD(米つき体験/土器・銅鐸パズル(毎回実施))

【活動日数:17日 協力者数:51名】

5月 道具作り、展示室巡視、出前授業補助、子どもFD(石器体験)、館内ワークショップ補助

【活動日数:22日 協力者数:48名】

6月 道具作り、展示室巡回、子どもFD(弓矢体験)、出前授業補助、広報活動補助

【活動日数:12日 協力者数:24名】

7月 道具作り、子どもFD(考古学カード)、出前授業補助、館外ワークショップ補助

【活動日数:11日 協力者数:16名】

8月 道具作り、子どもFD(鳥形紙ひこうき)、館内ワークショップ補助

【活動日数:9日 協力者数:11名】

9月 道具作り、子どもFD(火おこし体験)、出前授業補助、館外ワークショップ補助

【活動日数:14日 協力者数:20名】

10月 道具作り、土器・銅鐸パズル、館内ワークショップ補助、子どもFD(米つき体験)、

出前授業補助

【活動日数:11日 協力者数:17名】

11月 道具作り、子どもFD(ポスターバッグ)、館内ワークショップ補助、館外ワークショップ補助、

出前授業補助、館内巡視、関西文化の日ワークショップ

【活動日数:11日 協力者数:19名】

12月 道具作り、土器・銅鐸パズル、子どもFD（弓矢体験）、出前授業補助

【活動日数：10日 協力者数：14名】

1月 道具作り、子どもFD（石器体験）

【活動日数：10日 協力者数：15名】

2月 道具作り、子どもFD（土器に触れてみよう）、広報活動補助、出前授業補助、館内ワークショップ補助、団体利用案内準備補助、冬のやよいミュージアムワークショップ

【活動日数：14日 協力者数：22名】

3月 道具作り、子どもFD（火おこし）、ボランティア活動総括の会、
弥生フェスティバルワークショップ

【活動日数：20日 協力者数：14名】

<ボランティア活動の内容>

翻訳ボランティア：開催要項等の英語訳等

平日ボランティア：展示室巡回、書庫整理、体験学習素材の作成等

土曜ボランティア：土器パズル等体験学習の補助

出前授業補助ボランティア：出前授業でのスタッフ補助

5. 「博物館 in school」事業－博学連携事業

(1) 小学校の団体見学受け入れ

事前に説明会を催し、また、館内案内ビデオの貸出しを行うことで事前学習の一助とした。見学をより充実したものにしてもらうため、ホームページ上に8種類のワークシートを用意し、各学校に利用を呼びかけた。見学当日には、各団体の意向に沿って学芸員や教育専門員が展示解説を行い、展示室での学習を支援した。

【100校 106件 入館者数：7,834名】

<堺市>東三国丘小学校、三国丘小学校、深井西小学校、深井小学校、鳳小学校、安井小学校、上野芝小学校、原山台小学校、浜寺昭和小学校、浜寺小学校、浅香山小学校、神石小学校、日置荘小学校、南八下小学校、錦西小学校、桃山台小学校、市小学校、浜寺石津小学校、竹城台東小学校、土師小学校、新湊小学校、

<和泉市>国府小学校、幸小学校、黒鳥小学校、光明台北小学校、南松尾小学校、青葉はつが野小学校、和気小学校、鶴山台南小学校、鶴山台北小学校、横山小学校、伯太小学校、芦部小学校、信太小学校、池上小学校

<泉大津市>楠小学校、浜小学校、上條小学校、条南小学校、条東小学校

<高石市>高陽小学校、取石小学校、高石小学校、羽衣小学校、清高小学校

<忠岡町>忠岡小学校、東忠岡小学校

<岸和田市>太田小学校、常磐小学校、山直北小学校

<泉佐野市>大木小学校

<熊取町>南小学校

<泉南市>西信達小学校、新家東小学校

<大阪市>玉出小学校、弁天小学校、小林小学校、生野南小学校、喜連小学校、鶴町小学校、住之江小学校、遠里小野小学校、泉尾北小学校、長居小学校、喜連西小学校、福島小学校、天王寺小学校、千本小学校、上福島小学校、栄小学校、成育小学校、長吉小学校、鷹合小学校、荻田小学校、喜連東小学校、松之宮小

学校、今川小学校、墨江小学校、苅田北小学校、生野小学校、新平野西小学校、矢田東小学校
 <枚方市>川越小学校
 <東大阪市>西堤小学校
 <松原市>天美南小学校、松原南小学校
 <八尾市>大正北小学校
 <和歌山県和歌山市>藤戸台小学校、西佐和小学校、四箇郷北小学校
 <和歌山県橋本市>柱本小学校
 <和歌山県海南市>大東小学校、黒江小学校
 <和歌山県岩出市>根来小学校
 <兵庫県宝塚市>山手台小学校、高司小学校
 <大阪府立>中央聴覚支援学校、堺聴覚支援学校
 <私立>仁川学院小学校、近畿大学附属小学校

(2) 中学校等の団体見学受け入れ

小学校以外に中学校、その他団体を受け入れ、学芸員や教育専門員が展示解説等を行い、博物館における学習を支援した。 【入館者数：1,550名】

① 中学校等【6校 入館者数 358名】

堺市立浜寺南中学校、大阪市立蒲生中学校、大阪市立大正北中学校、阪南市立飯の峯中学校、大阪府立和泉支援学校（中学部・高等部）、和泉市立富秋中学校（研修会）

② その他団体【39団体】

あさひカルチャーセンター、高齢者大学、年輪大学（和泉市社会福祉協議会）、明治大学博物館友の会（弥生文化研究会）、社会福祉法人野のはなガマダシモン、歴友会、堺市こころの健康センター、阪南地区公民館クラブ利用者連絡協議会、泉大津市立南公民館、すぎのこ学童クラブ、有田川教育委員会社会教育課、日本キリスト教団南大阪教会、岐阜市歴史探検隊、シャープ社友会歩こう会、古代史紀行秋の日帰りスペシャルツアー、大阪府立母子健康総合医療センター、りんくうフォーラム、宅陀地区更生保護司女性部、王寺町歴友会、岸和田徳洲苑グループホーム三田、川西市文化財ボランティアガイドの会、ココステージ城東、じねん・クラブ（シニア自然大学 0B）、鶴山台第一・第二保育園、芦部保育園、国府第二保育園、高齢者大学歴史古代科、池上曾根弥生学習館、くすのき保育園、幸保育園、合同研修会、和泉市東阪本町内会、大阪歯科保険医協会、泉州地区通関業務研究会、和泉市立国府幼稚園、和泉 one23、地域性活動総合支援センターワークくみのき、加茂小学校区コミュニティ推進協議会、大矢船老人会あさひ会

(3) 小中学生団体の利用促進のため小学校教諭を対象に下見説明会を実施した。

4月5日（火）16校【参加者：48名】 4月6日（水）9校【参加者：27名】

(4) 体験ゾーンの活用

屋外に設置した竪穴住居の復元施設の活用を推進した。 【64団体 利用者数：4,502名】

(5) 出前授業

小学校等から依頼を受け、教育専門員および学芸員が出向いて授業を行った。【82回 実績：2,756名】

<堺市>白鷺小学校、東陶器小学校、南八下小学校、庭代台小学校、浜寺東小学校、上神谷小学校、福

泉東小学校

<高石市>清高小学校

<泉大津市>条東小学校、旭小学校、楠小学校、条南小学校、戎小学校

<和泉市>鶴山台南小学校

<岸和田市>城東小学校

<岬町>淡輪小学校

<河内長野市>天見小学校

<富田林市>高辺台小学校、高辺台子ども会

<羽曳野市>埴生放課後子ども会、埴生南放課後子ども会、恵我之荘放課後子ども会

<松原市>天美南小学校、松原小学校

<八尾市>亀井小学校、安中小学校、大正北小学校

<大阪市>千本小学校、池島小学校、歌島小学校、小林小学校、弁天小学校、宮原小学校、新庄小学校、
栄小学校、榎並小学校、東中川小学校

<豊中市>野田小学校

<池田市>呉服小学校

<枚方市>川越小学校

<府立>和泉支援学校小学部

(6) 博学連携

博物館の活動をよりよく理解してもらうため、小学校から大学までを対象に、展示解説やバックヤードツアーを行ったほか、教員を対象に博学連携セミナーを実施し、意見交換の場を設けた。

① 大学生（博物館学実習・研修等）

実習生等を受け入れ、博物館の実務などについて指導した。

5月22日(日)	大阪樟蔭女子大学	【10名】
5月29日(日)	近畿大学	【27名】
6月11日(土)	桃山学院大学	【3名】
6月12日(日)	天理大学	【8名】
7月17日(日)	関西大学調査実習	【52名】
7月22日(金)～7月23日(土)	奈良大通信教育部博物館実習	【26名】
7月26日(火)～7月30日(土)	博物館実習	【13大学・24名】
8月24日(水)	大阪教育大学	【50名】
10月16日(日)	神戸女子大学	【19名】

② 中学生・高校生（職場体験学習等）

中学生を1～3日間受け入れ、博物館業務を体験する機会を提供した。また、高校生の入門講座・バックヤードツアー等をとおして、学習機会を提供した。

5月13日(金)	大阪府立今宮高等学校	【10名】
7月13日(水)	大阪府立成美高等学校	【15名】
8月4日(木)～8月5日(金)	大阪府立今宮高等学校	【11名】

8月19日(金)	高校生のための博物館ツアー	【10名】
9月15日(木)～16日(金)	高石市立取石中学校	【2名】
9月29日(木)～30日(金)	高石市立高石中学校	【5名】
10月13日(木)	私立和光高等学校	【25名】
11月8日(火)～9日(水)	和泉市立信太中学校	【6名】
11月10日(木)～11日(金)	和泉市立石尾中学校	【4名】
11月15日(火)～17日(木)	和泉市立郷荘中学校	【4名】
11月17日(木)～18日(金)	忠岡町立忠岡中学校	【5名】
2月16日(木)～17日(金)	高石市立高南中学校	【4名】

③ 教員等研修

教員等の研修を行い、連携を深めた。

8月19日(金)	博学連携セミナー(高校教諭対象)	【18名】
8月26日(金)	博学連携セミナー(小中学校教諭対象)	【12名】

④ 子ども一日館長

3月25日(土)	泉大津市立条南小学校2名(任命式、宝べやツアー)	【73名】
----------	--------------------------	-------

⑤ 中学生フレッシュコンサート

3月25日(土)	和泉市立郷荘中学校・高石市立取石中学校	【152名】
----------	---------------------	--------

6. 「どこでも博物館」事業

(1) 出張展示

他館や他団体と連携し、当館資料やパネル等を展示した。

- ① 大阪府立狭山池博物館 【入館者数:12,944名】
 - ア. 開催期間 平成28年4月26日(火)～5月22日(日)
 - イ. 内容 「縄文時代の船橋遺跡―土偶・御物石器・絵画土器にみる縄文人の心―」
- ② 泉大津市池上曾根弥生学習館 【入館者数:12,305名】
 - ア. 開催期間 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)
 - イ. 内容 当館所蔵の資料を展示
- ③ 和泉市池上曾根弥生情報館 【入館者数:83,709名】
 - ア. 開催期間 平成28年4月1日(金)～平成29年3月31日(金)
 - イ. 内容 当館所蔵の資料を展示
- ④ 大阪府立中央図書館 【入館者数:32,717名】
 - ア. 開催期間 平成28年8月23日(火)～9月11日(日)
 - イ. 内容 『「卑弥呼の時代を描こう」優秀作品展』

(2) 出張体験学習

各種催しに体験学習ブース等を出展した。

- ① 和泉市制施行60周年記念 池上曾根遺跡史跡指定40周年・池上曾根史跡公園開園15周年記念
あらたなる萌 【参加者数:59名】

- ア. 開催日 5月4日(水祝)
- イ. 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 和泉市教育委員会文化財振興課
- ② ふれあいまつり 【参加者数:105名】
- ア. 開催日 5月5日(木祝)
- イ. 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 池上曾根弥生学習館
- ③ ミニ実習・弥生文化博物館がやってきた! 【参加者数:53名】
- ア. 開催日 5月15日(日)、11月27日(日)
- イ. 内容・連携先 「土器をさわってみよう」「泥面子をつくろう」 きしわだ自然資料館
- ④ ハスフェスタ 【参加者数:60名】
- ア. 開催日 7月29日(金)
- イ. 内容・連携先 「消しごむ勾玉」 泉南市教育委員会
- ⑤ 関西大学キッズミュージアム 【参加者数:103名】
- ア. 開催日 8月2日(火)
- イ. 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 関西大学博物館
- ⑥ 夏休みコトコト探検隊「卑弥呼の時代」の鏡をつくろう! 【参加者数:12名】
- ア. 開催日 8月12日(金)
- イ. 内容・連携先 「鏡鑄造体験」 西宮阪急 コミュニティルーム
- ⑦ 音★楽市 【参加者数:84名】
- ア. 開催日 9月3日(土)
- イ. 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 まなびのプラザ
- ⑧ 「卑弥呼の時代」を描こう優秀作品展関連 【参加者数:117名】
- ア. 開催日 9月4日(日)・9月10日(土)
- イ. 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 大阪府立中央図書館
- ⑨ 子育て応援フェア 親子でワークショップ 【参加者数:207名】
- ア. 開催日 9月25日(日)、2月18日(土)
- イ. 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 大阪府住宅供給公社
- ⑩ 軽音フェスタ in 弥生の杜 2016 【参加者数:127名】
- ア. 開催日 10月1日(土)・10月2日(日)
- イ. 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 池上曾根史跡公園
- ⑪ 和泉市商工まつり 【参加者数:279名】
- ア. 開催日 10月22日(土)・10月23日(日)
- イ. 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 池上曾根史跡公園
- ⑫ 全国古代体験フェスティバル 2016 【参加者数:136名】
- ア. 開催日 11月5日(土)
- イ. 内容・連携先 「ヤヨイな消しゴムづくり」 兵庫県立考古博物館
- ⑬ 平成28年度風土記まつり 【参加者数:115名】
- ア. 開催日 11月13日(日)

イ. 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 和歌山県立紀伊風土記の丘

⑭ JA いずみ農業まつり 【参加者数：216名】

ア. 開催日 11月20日(日)

イ. 内容・連携先 「土器・銅鐸パズル」 池上曾根史跡公園

⑮ 第6回 come come*はにコット 【参加者数：32名】

ア. 開催日 11月20日(日)

イ. 内容・連携先 「銅鐸風鈴をつくろう」 高槻市今城塚古墳公園

⑯ 土曜れきし館ワークショップ 【参加者数：21名】

ア. 開催日 2月4日(土)

イ. 内容・連携先 「鏡を鋳造しよう！」 泉佐野市立歴史館いずみさの

⑰ いきもの銅鐸風鈴をつくろう！ 【参加者数：42名】

ア. 開催日 2月5日(日)

イ. 内容・連携先 「いきもの銅鐸風鈴をつくろう！」 伊丹市昆虫館

⑱ こどもれきみんカーニバル 【参加者数：62名】

ア. 開催日 3月5日(日)

イ. 内容・連携先 「つくってあそぼう！泥めんこ」 大東市立歴史民俗資料館

(3) 講演・講座

当館学芸員が、各所から依頼を受け、出張講演・解説を行った。

① 大阪府立狭山池博物館 南河内の発掘成果展 【参加者数：32名】

5月14日(土)「縄文時代の船橋遺跡—土偶・御物石器・絵画土器—」 当館学芸員 瀬尾晶太

② むきばんだやよい塾 2016年度：第17期 【参加者数：34名】

6月4日(土)「私が考えた弥生都市論の是非」 当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

③ 近鉄文化サロン でかける博物館講座 考古学からみる古代の生活4

6月16日(木)「『倭国伝』の考古学—遣使が見た倭国の都・飛鳥—」 当館館長 黒崎直 【参加者数：107名】

8月18日(木)「『倭国伝』の考古学—文字の伝播と発明—」 当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数：106名】

10月20日(木)「『倭国伝』の考古学—倭人の船—」 当館総括学芸員 塚本浩司 【参加者数：109名】

12月15日(木)「『倭国伝』の考古学—倭人の武器—」 当館総学芸員 瀬尾晶太 【参加者数：91名】

2月16日(木)「『倭国伝』の考古学—『漢書』地理志と倭人—」 当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

【参加者数：98名】

④ 会下山遺跡発掘60周年・国史跡指定5周年記念シンポジウム 【参加者数：649名】

8月20日(土)「弥生農耕集落の特性と高地性集落の成立類型」 当館副館長兼学芸課長 秋山浩三

⑤ かなえ会 陰陽道連続講座(全3講) 当館副館長兼学芸課長 秋山浩三 【参加者数：計64名】

8月23日(火)「安倍晴明・陰陽道ブームの光と影」

8月30日(火)「今に残る陰陽道のマツリ」

9月6日(火)「考古学から追究する陰陽道の歴史性」

⑥ 第8回世界考古学会議 【参加者数：12名】

8月29日(月)「The semi-composite ship in ancient Japan」 当館総括学芸員 塚本浩司

- ⑦ 和泉市文化財保護条例施行 20 周年記念 信太の森ふるさと館平成 28 年度特別企画「陰陽道の世界」
9 月 18 日 (日)「近世近畿の陰陽師－『歴代組』と呼ばれた者たち－」
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三 【参加者数 :53 名】
- ⑧ 富山県埋蔵文化財センター特別展「霊峰立山－立山信仰を探る－」 【参加者数 :85 名】
9 月 18 日 (日)「山岳信仰の始まりと役行者」 当館館長 黒崎 直
- ⑨ 国指定 10 周年記念フォーラム上市黒川遺跡群のこれから－山林寺院遺跡の整備・活用とまちづくり－
11 月 5 日 (土)「史跡の整備・活用とまちづくり」 当館館長 黒崎 直 【参加者数 :100 名】
- ⑩ 近畿計量大会 【参加者数 :337 名】
11 月 18 日 (金)「弥生分銅－国内最古の分銅と古代ユーラシアの計量資料－」 当館総括学芸員 中尾智行
- ⑪ 朝日カルチャーセンター関西連携企画「激論！畿内説 vs 九州説～邪馬台国研究の最前線」
11 月 26 日 (土)「近畿の考古学からみた＜卑弥呼・邪馬台国＞」 【参加者数 :48 名】
当館副館長兼学芸課長 秋山浩三
- 12 月 3 日 (土) シンポジウム (寺沢 薫・片岡宏二・秋山浩三) 【参加者数 :73 名】
- ⑫ なみはや市民大学講演 当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数 :計 25 名】
12 月 3 日 (土)「“はかり”の起源と伝播・弥生分銅の発見とユーラシアの計量資料」
3 月 4 日 (土)「文字と出会った倭人・伝播と発明」
- ⑬ 東大阪市埋蔵文化財センター歴史講演会 当館総括学芸員 中尾智行 【参加者数 :70 名】
12 月 4 日 (日)「“はかり”の起源と伝播－日本最古の分銅セットの発見と、ユーラシアの計量資料－」
- ⑭ 大阪府立泉陽高等学校 【参加者数 :25 名】
12 月 12 日 (月)「職業セミナー」講義 当館学芸員 井上知花
- ⑮ 大阪府高齢者大学校 古代から学ぶ 【参加者数 :51 名】
1 月 11 日 (水)「古代の生活と食」 当館学芸員 井ノ上佳美

7. 「体験する博物館」事業

(1) 体験学習・ツアー

体験することにより、知的好奇心を高め、また当館により親しんでもらうため、特別展・企画展関連以外にもワークショップ等を行った。

- ① 和泉市制施行 60 周年記念 池上曾根遺跡史跡指定 40 周年・池上曾根史跡公園 15 周年記念 あらたなる萌
5 月 4 日 (水祝)「ナイトミュージアム」 【参加者数 :32 名】
- ② 池上曾根遺跡史跡指定 40 周年記念展示「青銅器生産の謎」関連ワークショップ 【参加者数 :20 名】
5 月 22 日 (日)「ミニ銅鐸をつくろう」
- ③ 夏休みフェスタ！ 【参加者数 :合計 931 名】
8 月 14 日 (日)「ミサンガをつくろう！」「考古なバッグをつくろう！」 【参加者数 :計 418 名】
「まがたんを作ろう！」「レキコラ 2 P！」「考古学カードバトル！」
「民族衣装を着てみよう！」「古代文字スタンプで自分の名前を押してみよう」
「土器・銅鐸パズル！」
8 月 20 日 (土)「チリメンモンスターをさがそう！」 【参加者数 :計 513 名】

「星形ペンダントをつくろう!」「古墳マグネットをつくろう!」

「考古学カードであそぼう!」「民族衣装を着てみよう!」

「古代文字で自分の名前を押してみよう!」「土器・銅鐸パズル」

④ 和泉市商工まつり関連ワークショップ

【参加者数:合計 220名】

10月22日(土)「ミニチュア土製品をつくろう!」「泥めんこをつくってあそぼう!」

「カイトを探せ!」

【参加者数:計 146名】

10月23日(日)「カイトを探せ!」

【参加者数:74名】

⑤ 関西文化の日ワークショップ

【参加者数:計 346名】

11月19日(土)「土器でお米を炊いてみよう!+糺摺り体験」「火おこし体験」

「ミニチュア土製品をつくろう」「イライラ棒に挑戦(日本電気計器検定所)」

「体験!自転車発電機(日本電気計器検定所)」「計量ひろば(大阪府計量検定所)」

「古墳マグネットをつくろう!(株式会社オリオン)」

「ミサンガをつくろう!(泉南市埋蔵文化財センター)」「万華鏡をつくってみよう!」

⑥ 冬のやよいミュージアム with 小さいとこネット

【参加者数:計 1,645名】

2月12日(日)「むかしあそび(篠山チルドレンズミュージアム)」

「コイのたべもの コイのくち(高槻市立自然博物館あくあびあ芥川)」

「考古なバッグをつくろう!(はにコット)」

「古墳キーホルダーづくり(八尾市立しおんじやま古墳学習館)」

「江戸のおもちゃ「ずぼんぼ」づくり(唱歌とおもちゃのミュージアムわらべ館)」

「チリメンモンスターをさがそう!(きしわだ自然資料館)」

「オリジナルミサンガづくり(泉南市埋蔵文化財センター)」

「古墳壁掛け・ハニワ福笑い作りにチャレンジ!(堺市博物館)」

「弥生博でいきものみつけ!(堺自然ふれあいの森)」

「民具で算数(民具オモシロガリストおかちゃんからの挑戦!)」

「土器・銅鐸パズル」「考古学カードバトル」「弓矢体験」「やよいな缶バッジづくり」

⑦ 弥生フェスティバル

【参加者数:合計 1,888名】

3月25日(土)「子ども一日館長」「フレッシュコンサート」

【参加者数:計 1,209名】

「子ども一日館長宝べやツアー」「星形ペンダントをつくろう(池上曾根弥生学習館)」

「身近なものでつくる、昔のおもちゃ!」「オリジナル缶バッジづくり/埴輪パズル!」

「フェルトの古墳バッジをつくろう!」「ミュシャのデザインでカードをつくろう!」

「エネルギーと科学の不思議!?!とても冷たい温度の世界をのぞいてみよう♪」

「土器でお米を炊いてみよう+糺すり体験」「弓矢体験」

3月26日(日)「オリジナルミサンガづくり」「折り紙で遊ぼう!」

【参加者数:計 679名】

「古墳マグネットと古墳ブローチづくり」

「エネルギーと科学の不思議!?!とても冷たい温度の世界をのぞいてみよう♪」

「ミュシャのデザインでカードをつくろう!」「カイトとリュウさんの弥生ツアー!」

「弥生の火おこし体験」「挑戦!土器・銅鐸パズル」

(2) 子どもファーストデイ企画「みんないっしょに考古楽! 2016」

大阪府・大阪府教育委員会が実施する「こころの再生」府民運動のうち、毎月第3土曜日の「子どもファーストデイ」に参加し、コミュニケーションを深めるきっかけをつくる体験学習を行った。下記の内容と「土器・銅鐸パズル」を併せて実施した。 【参加者数：計 769 名】

- 4月16日(土)「弥生の米つき体験」、5月21日(土)「石器を使ってみよう」
- 6月18日(土)「弥生の弓矢体験」、7月16日(土)「考古学カードであそぼう(バトル)」
- 8月20日(土)「鳥形紙ひこうきを作ろう!」、9月17日(土)「弥生の火おこし体験」
- 10月17日(土)「弥生の米つき体験」、11月19日(土)「弥生博のポスターでバッグをつくろう」
- 12月17日(土)「弥生の弓矢体験」、1月21日(土)「石器を使ってみよう」
- 2月18日(土)「土器にふれてみよう」、3月18日(土)「弥生の火おこし体験」

8. 広報普及事業

(1) 弥生フェスティバル開催

当館の存在を広くPRするとともに、地元の各種団体や他の博物館、企業と連携して楽しく学べる空間を創出することを目的として、弥生フェスティバルを実施した。堺市・和泉市・泉大津市・高石市・岸和田市・忠岡町の各教育委員会に依頼し、各市町全児童にチラシを配付した。

- ア. 開催期間 平成 29 年 3 月 23 日 (木) ~29 日 (水) 6 日間 【入館者数:3, 255 名】
- イ. 入館料 平成 29 年 3 月 25 日 (土) ~26 日 (日) は無料
- ウ. イベント 前掲

(2) 要覧の作成

『平成 27 年度弥生文化博物館要覧』(平成 29 年 3 月 31 日発行)を作成し、関係諸機関に配付した。

(3) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、招待券等を催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(4) 常設展リーフレット作成

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレット(日本語・英語・中国語・韓国語/大人用・子ども用)を作成し、配付した。

(5) 小学生用見学のしおり・ワークシート

小学生が弥生文化を学習するうえで助けとなるよう、「小学生のための見学のしおり」を配布した。
また、社会見学等で来館の学校団体には、ワークシート(8種類)を用意し、ホームページからダウンロードして利用いただけるようにした。

(6) 解説シート

常設展示の解説シート(7種)及び常設展示点字解説シート、マンガによる解説シート、外国語解説シート等を用意した。

(7) 問合せ対応

マスコミ、出版社、一般利用者等からの弥生文化を中心とする質問についての回答や、参考文献の紹介をすることで、弥生文化に関する情報を発信した。

(8) マスコミ・ミニコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、大阪府政記者会、大阪教育記者会、堺市政記者クラブに情報を提供した。また、新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元ミニコミ誌へも同様の資料を作成・送付し、広報への協力を依頼した。

(9) インターネットホームページ

ホームページおよびフェイスブックによる情報提供を行った。【年間アクセス件数：314,440件】
館のマスコットキャラクターが弥生文化や当館の展示物、催し等を紹介する四コマ漫画をホームページに連載し、インターネット上で動画の配信を行った。

(10) 新聞広告等

広域広報を目的とし、特別展主催者名義使用新聞社等に特別展・企画展の広告を掲出した。また、新たな取り組みとして、北摂地区において、路線バス車内での特別展等の液晶ディスプレイ広告を実施した。

9. 資料貸出

当館所蔵の資料（実物・復元・写真・映像等）を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ弥生文化に関する情報を発信した。【資料9件・168点／写真72件・169点】

10. 研究事業

国内外の研究者との学術交流	国内大学、教育委員会等研究者	【135名】
	海外研究者	【11名】

11. 資料製作事業

学術図書の計画的購入など、資料収集に努めた。

12. 文化庁 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業

館キャラ連携プロジェクト実行委員会の中核館として、「マスコットキャラクターの活用・連携による幅広い学習機会の提供とポータルミュージアム構想推進事業」を推進した。古代オリエント博物館、泉佐野市立歴史館いずみさの他の協力を得て、遺跡&博物館ガイド「博物館へ行こう」「遺跡へ行こう」を作成し、利用者や関係機関に配付した。また、名古屋市立大学大学院研究室の指導・協力により、ICタグを利用した展示巡回システムを構築し、当館常設展示室において試行した。

【補助事業費：9,515,000円】

13. サービス事業

(1) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会やコンサートでアンケート用紙を配付し、来館者の要望や展示内容の疑問などの把握に努めた。

(2) 音声ガイド

展示資料に対する理解をより深めてもらうため、日本語による音声ガイドと英語版音声ガイド及び館キャラクター・カイトとリュウさんによる日本語・英語・中国語・韓国語音声ガイド（いずれも常設展

示)を用意し、無料で貸し出しを行った。

(3) 館内紹介ビデオ・DVD

主に学校団体ご利用に向けて、館内ならびに体験ゾーンの紹介と見学に際しての注意を盛り込んだ映像ソフトの貸し出しを行った。

(4) 設備

施設環境の良化及び省資源化等を目的として、下記の改修等を実施した。

- ・ 男子用小便器に不具合がみられたため、センサーユニットを交換した。
- ・ ライトコート of 雨水管に排水不良がみられたため、適切に排水できるよう措置を行った。
- ・ EV機械室で漏水が発生しても機器に影響が及ばないように、配線の設置場所を床面での固定から新たに設置した吊り棚部へと変更した。
- ・ 外壁部に設置している懸垂幕の手動ウインチを補修した。
- ・ エントランスホールやサロン等の白熱球を、順次LED電球へと交換した。

14. 自主事業

ミュージアムショップの整備、オリジナルグッズや受託販売商品の充実に努めた。

15. 入館者数及び入館料一覧表

区分	入館者数(名)			入館料 (円)	備考
	有料	無料	合計		
常設展	2,401	8,693	11,094	465,780	74日間
割合%	15.0	22.3	20.1		
春季特別展	3,016	8,490	11,506	1,043,240	50日間
割合%	18.8	21.8	20.9		
夏季特別展	5,024	5,974	10,998	1,973,880	50日間
割合%	31.3	15.3	20.0		
秋季企画展	3,799	10,487	14,288	759,720	80日間
割合%	23.7	26.9	26.0		
冬季企画展	1,792	5,363	7,155	470,420	51日間
割合%	11.2	13.7	13.0		
合計	16,032	39,009	55,041	4,713,040	305日間
割合%	100.0	100.0	100.0		
平成27年度実績			64,545	5,503,100	309日間
平成26年度実績			61,041	4,955,640	303日間
平成25年度実績			61,024	4,957,480	303日間

(金額は税込額)

V 大阪府立近つ飛鳥博物館事業

1. 常設展示

第1ゾーンで「近つ飛鳥と国際交流」、第2ゾーンで「古代国家の源流」、第3ゾーンで「現代科学と文化遺産」のテーマで展示。

2. 特別展企画展事業

(1) 春季特別展「古墳とは何か―葬送儀礼からみた古墳―」

【総入館者数 20,839 名・特別展入館者数：8,898 名・展示室 174 名/日】

ア. 開催趣旨 古墳は死者を単に葬るための施設ではなく、ヤマト王権を中心とする各地の有力首長の政治的な実力や関係は、古墳の大きさや形に表現されました。また古墳では被葬者の死をめぐるさまざまな行為が行われたとも考えられます。今回の特別展では、古墳時代の葬送儀礼にかかわる資料を展示し、そこで行われた儀礼とその変化をみつめることによって、古墳の意味を考えました。

イ. 開催期間 平成 28 年 4 月 23 日 (土)～6 月 19 日 (日) 【会期：51 日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は 2 (6) 参照

エ. 講演会等 開催に際し、展示に即した講演会およびシンポジウムを実施した。

講演会

- ・5 月 22 日 (日) 「船・家、そして他界」 辰巳和弘 (元同志社大学教授) 【173 名】
- ・5 月 29 日 (日) 「古墳における儀礼と黄泉の国」 土生田純之 (専修大学教授) 【183 名】
- ・6 月 12 日 (日) 「葬送儀礼からみた古墳」 白石太郎 (当館館長) 【300 名】

ミニシンポジウム

- ・5 月 8 日 (日) 『墳丘と儀礼』 【204 名】
「葬送儀礼と土師器」 市村慎太郎 (当館総括学芸員)
「埴輪からみた古墳の儀礼の場とその変遷」 小浜 成 (大阪府教育庁文化財保護課総括主査)
討論司会/廣瀬時習 (当館総括学芸員)
- ・6 月 5 日 (日) 『埴輪群像と葬送儀礼』 【206 名】
「今城塚古墳の埴輪群像からみた葬送儀礼」 今西康宏 (高槻市立今城塚古代歴史館学芸員)
「埴輪の儀礼と大嘗祭」 森本 徹 (当館副館長兼学芸課長)
討論司会/廣瀬時習 (当館総括学芸員)

オ. 展示解説 特別展示室において学芸員による展示解説を実施した。 【6 回・計 179 名】

実施日：4 月 24 日 (日)、5 月 1 日 (日)、5 月 7 日 (日)、5 月 21 日 (日)、
6 月 4 日 (土)、6 月 18 日 (土)

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 現地見学会 5月15日(日)「新沢千塚古墳群を歩く—大和の古墳にみる葬送儀礼」 【88名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動を行った。

ケ. 開会式 4月23日(土)地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し実施した。

コ. 主催：本館、毎日新聞社

後援：河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議 近畿日本鉄道株式会社

(2) 夏季企画展「古代人がみた色と光—色彩と輝きの考古学—」

【総入館者数 12,320名・企画展入館者数：4,687名・展示室 92名/日】

ア. 開催趣旨 古墳やそこに納められたさまざまな副葬品にはカラフルな色彩のものがみられます。また光り輝く品物もたくさんありました。古代の人はさまざまな色に何を感じ、どのような役割を与えたのでしょうか。今回の企画展では古墳や遺跡から出土した色彩や光を示す出土品から、古代人のみた色や光の世界を探ってみました。夏休み期間中のこどもたちにもわかりやすい展示を実施した。

イ. 開催期間 平成28年7月16日(土)～9月11日(日) 【会期：50日間】

ウ. 小冊子の作成・発行、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 小冊子の詳細は2(6)参照

エ. 講演会・体験学習

展示に即した講演会、セミナーを実施した。復元鏡を用いた魔鏡現象の再現や、勾玉づくりなど体験学習を実施した。

講演会

・8月7日(日)「古墳壁画の色とモチーフ」 白石太一郎(当館館長) 【121名】

・9月4日(日)「古代人のみた色・三角縁神獣鏡の輝き」

村上 隆(京都美術工芸大学教授) 【111名】

解説講座

・7月31日(日)「玉からみた古代の色」 廣瀬時習(当館総括学芸員) 【44名】

・9月11日(日)「色の歴史と古墳時代」 森本 徹(当館副館長兼学芸課長) 【72名】

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。 【5回・計82名】

実施日：7月18日(月・祝)、7月18日(土)、8月12日(金)、8月28日(日)、9月3日(土)

カ. 音声ガイドによる展示解説 企画展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いたPRやポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

ク. 主催：本館

後援：堺市、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、富田林市、富田林市教育委員会、河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

(3) 秋季特別展「大王と豪族－6世紀の大和と河内－」

【総入館者数 16,551名・特展入館者数：6,586名・展示室 132名/日】

ア. 開催趣旨 古墳時代後期である6世紀は、大和や河内地域をはじめとする列島各地で最も多くの古墳が築かれた時期です。これらの古墳には、ヤマト王権の大王をはじめ、それを支えた有力豪族、さらにそれらに仕える集団という支配秩序が表現されていると考えられます。今回の展覧会では、大和・河内地域におけるさまざまな古墳からの出土品に焦点を当て、後期古墳の展開や、様々な勢力による地域支配の様相について考えました。

イ. 開催期間 平成28年10月1日(土)～11月27日(日) 【会期：50日間】

ウ. 特別展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は2(6)参照

エ. 講演会等 開催に際し、展示に即した講演会およびシンポジウムを実施した。

講演会

- ・10月30日(日)「6世紀のヤマト王権の支配体制－ミヤケ制を中心に－」

館野和己(奈良女子大学名誉教授) 【187名】

- ・11月6日(日)「6世紀の大和の古墳と豪族－葛城のその後、新庄と巨勢路の古墳群－」

千賀久(葛城市歴史博物館館長) 【114名】

- ・11月23日(水・祝)「古墳からみた6世紀の物部氏」 白石太一郎(当館館長) 【297名】

ミニシンポジウム

- ・10月16日(日)『6世紀の渡来人からみた大和と河内』 【169名】

「6世紀の大和の渡来人」井上主税(奈良県立橿原考古学研究所主任研究員)

「6世紀の河内の渡来人」森本徹(当館副館長兼学芸課長)

討論司会/市村慎太郎(当館総括学芸員)

- ・11月20日(日)『副葬品からさぐる6世紀の古墳』 【106名】

「6世紀における馬具の変化とその背景」諫早直人氏(奈良文化財研究所研究員)

「6世紀の副葬品にみる装身具の意義」廣瀬時習(当館総括学芸員)

討論司会/市村慎太郎(当館総括学芸員)

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員による展示解説を実施した。 【5回・計154名】

実施日：10月2日(日)、10月15日(土)、10月29日(土)、11月5日(土)、11月27日(日)

カ. 音声ガイドによる展示解説 特別展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 現地見学会 10月23日(日)「天理市北部の古墳をめぐる」 【61名】

ク. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いた PR やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

ケ. 開会式 10月1日(土) 地元を中心とした関係者、協力者、報道関係者を招待し実施した。

コ. 主催：本館、読売新聞社

後援：天理市、天理市教育委員会、羽曳野市、羽曳野市教育委員会、藤井寺市、藤井寺市教育委員会、太子町、太子町教育委員会、河南町、河南町教育委員会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿日本鉄道株式会社

(4) 冬季企画展「歴史発掘 おおさか 2016 -大阪府発掘調査最新情報-

【総入館者数 19,173 名・特展入館者数：5,125 名・展示室 100 名/日】

ア. 開催趣旨 大阪府には、旧石器時代から近代まで、あらゆる時代の埋蔵文化財が地下に眠っており、毎年、多くの発掘調査が実施されています。今回の企画展では大阪府をはじめ、市町村の協力により、大阪府内の埋蔵文化財の最新情報をご覧いただきました。

イ. 開催期間 平成 29 年 1 月 21 日(土)～3 月 20 日(月・祝) 【会期：51 日間】

ウ. 企画展図録の作成・出版、ポスター・ちらし・招待券の作成配布 図録の詳細は 2(6) 参照

エ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会、発掘調査報告会を実施した。

講演会

・1 月 21 日(土)「大和川・洪水との戦いー河内国分村の場合ー」(柏原市民歴史クラブ共催)

安村俊史 (柏原市立歴史資料館館長) 【57 名】

・3 月 20 日(月・祝)「双円墳・金山古墳をめぐって」白石太一郎(当館館長) 【200 名】

特集展示講演会

・2 月 26 日(日)『近つ飛鳥の後・終末期古墳』 【83 名】

「喪葬儀礼からみた終末期古墳」森本 徹(当館副館長兼学芸課長)

調査報告会『おおさかを掘るー最新発掘調査の成果ー』

・2 月 12 日(日) 【109 名】

「邪馬台国時代の北河内ー寝屋川市小路遺跡」濱田延充 (寝屋川市教育委員会)

「百済王氏建立の古代寺院一枚方市百済寺跡」井戸竜太 (枚方市教育委員会)

オ. 展示解説 特別展示室において当館学芸員が展示解説を実施した。 【5 回・計 108 名】

1 月 29 日(日)、2 月 4 日(土)、2 月 19 日(土)、3 月 5 日(日)、3 月 19 日(日)

カ. 音声ガイドによる展示解説 企画展を解説した音声ガイドの貸し出しを行った。

キ. 広報 インターネットホームページ、当館沿線の駅貼り広告やミニコミ誌などを用いた PR やポスター・リーフレットの配布等、多様な広報活動により来館者の増加に資した。

ク. 主催：本館

後援：河南町、河南町教育委員会、太子町、太子町教育委員会、近畿日本鉄道株式会社

デザイン協力：大阪芸術大学芸術学部デザイン学科

(5) スポット展示

通常展示に供していない所蔵資料の一部を、常設展示室において公開した。【1回 21日・計 702名】

- ・平成 28 年 12 月 3 日（土）～12 月 27 日（火）「館蔵資料の紹介－寛弘寺の中期古墳－」

【会期 21 日・702 名・33 名／日】

(6) 出版事業

展示資料の解説や展示内容の理解を深めるため、特別展図録等を発行し、関係機関等に配付した。

- ・『古墳とは何か－葬送儀礼からみた古墳－』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 69 4 月 23 日発行
- ・『出土品にみる色と輝き』 7 月 16 日発行
- ・『大王と豪族－6 世紀の大和と河内－』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 70 10 月 1 日発行
- ・『歴史発掘おおさか 2016』大阪府立近つ飛鳥博物館図録 71 1 月 21 日発行

3. 講演会事業

(1) 安藤忠雄氏講演会「人生 100 年」の開催

3 月 4 日（土）、うめまつりの一環として、近つ飛鳥梅いっぱい委員会主催、安藤忠雄氏講演会を、本館ホールを会場に開催した。 【517 名】

(2) 近つ飛鳥常設展示解説（入門講座）・土曜講座（オーサカ発 調査研究最前線）

「入門講座」は、常設展示の各コーナーを対象にした講座をホールにて行い、展示内容をより理解していただく機会を作った。「土曜講座」は最新発掘調査や研究を知る機会として開催した。

ア. 入門講座「もっと知りたい『ちかつ博』」

毎月第 2 土曜日を基本とし、常設展示室の内容に関わる基礎的な講座を当館学芸員が行った。目標をこえる計 11 回を実施した。 【11 回・計 354 名】

- ・第 95 回 5 月 14 日（土）「聖徳太子墓の歴史」森本 徹
- ・第 96 回 6 月 11 日（土）「前期古墳の石製品」永山はるか
- ・第 97 回 7 月 9 日（土）「前方後円墳の形はどう変わっていくのか」市村慎太郎
- ・第 98 回 8 月 13 日（土）「古墳にみる階層性」廣瀬時習
- ・第 99 回 9 月 10 日（土）「鉄製農工具の古墳への副葬」小野寺洋介
- ・第 100 回 10 月 8 日（土）「古墳時代の衣装」桃井飛鳥
- ・第 101 回 11 月 12 日（土）「なぜ土器で年代がわかるのか」小野寺洋介
- ・第 102 回 12 月 10 日（土）「古墳時代の鉄器生産」永山はるか
- ・第 103 回 1 月 14 日（土）「古墳時代の倉庫と王権」森本 徹
- ・第 104 回 2 月 11 日（土）「修羅と土木工事」市村慎太郎
- ・第 105 回 3 月 11 日（土）「仏教文化の開花」廣瀬時習

イ. 土曜講座

毎月第4土曜日を基本とし、目標を超える計12回を実施した。 【12回・計486名】

- ・第85回 4月30日(土)「須恵器の副葬と葬送儀礼」小野寺洋介(当館学芸員)
- ・第86回 5月28日(土)「葬送儀礼とその変化」廣瀬時習(当館総括学芸員)
- ・第87回 6月25日(土)「淡輪古墳群と淡輪系埴輪」森本 徹(当館副館長兼学芸課長)
- ・第88回 7月23日(土)「大阪の古墳時代水田」市村慎太郎(当館総括学芸員)
- ・第89回 8月27日(土)「古墳時代の石枕」永山はるか(当館学芸員)
- ・第90回 9月24日(土)「古墳時代の中央と地域」廣瀬時習(当館総括学芸員)
- ・第91回 10月22日(土)「墳丘規模と被葬者の階層」市村慎太郎(当館総括学芸員)
- ・第92回 11月26日(土)「北摂の古墳からみた6世紀」森本 徹(当館副館長兼学芸課長)
- ・第93回 12月24日(土)「人骨からみた古墳時代の人々」桃井飛鳥(当館学芸員)
- ・第94回 1月28日(土)「農工具形模造品の副葬様相」永山はるか(当館学芸員)
- ・第95回 2月25日(土)「馬匹生産の展開―畿内と東山道から―」小野寺洋介(当館学芸員)
- ・第96回 3月25日(土)「子持勾玉からみた古墳人の心」廣瀬時習(当館総括学芸員)

(3) 博物館共催かなん文化財講座

博物館の所在する河南町教育委員会と連携し、博物館学芸員、河南町教育委員会職員を講師に、地域の歴史を深く学ぶ連続講座を行った。 【7回・のべ参加者数140名】

- ・第1回 6月15日(水)「弥生時代の終わりと古墳時代の始まり」
- ・第2回 7月20日(水)「前期古墳とヤマト王権」
- ・第3回 9月14日(水)「倭の五王の時代と百舌鳥・古市古墳群」
- ・第4回 10月19日(水)「金山古墳・御旅所北古墳と古墳時代後期(現地見学)」
- ・第5回 11月16日(水)「磯長谷古墳群と古墳時代終末期(現地見学)」
- ・第6回 12月14日(水)「古墳時代の終わりと古代国家の形成」
- ・第7回 1月25日(水)「学習交流会」

4. 「府民が参加する博物館」事業

(1) 古墳の森コンサート

博物館屋上階段広場に特設ステージを設け、地元高校生による音楽会を開催した。親しみある博物館・風土記の丘にふれ合う場をめざし、展示の観覧を促した。地元高校生の軽音楽部、フォークソング部などの発表、他学校との交流の場とした。春季、秋季の計2回開催した。

- ・4月29日(金・祝) 上宮太子高等学校・府立金剛高等学校・府立富田林高等学校・府立長野高等学校・初芝富田林高等学校・府立松原高等学校 【6校・752名】
- ・11月3日(木・祝) 府立藤井寺高等学校・府立富田林高等学校・府立河南高等学校・大阪暁光

(2) 風土記の丘古墳時代まつり「春の風土記の丘であそぼう」

5月3日(火・祝)、博物館周辺にひろがる豊かな自然を持つ風土記の丘を積極的に活用する事業として、ウォークラリーをはじめ、勾玉づくり・森の工作・修羅引き体験・古代衣裳着用体験などを開催した。 【419名】

(3) 博物館バックヤード探検ツアー

博物館をより親しみが持てるよう、博物館の仕組みの説明や、普段公開しない収蔵庫などの博物館のバックヤードを観察する見学会を実施した。

・5月4日(水・祝)【32名】、7月17日(日)【21名】、7月31日(日)【29名】、8月7日(日)【10名】、8月21日(日)【27名】

(4) こども近つ飛鳥風土記の丘古墳探検ツアー

小中学生および保護者を対象に、近つ飛鳥風土記の丘の一須賀古墳群を見学する探検ツアーを実施した。

・5月5日(木・祝) 【参加者 30名】

(5) 近つ飛鳥ギャラリー

地階広場、1階ロビーの空間を活用し、府民の文化活動を支援した。生涯学習の発表の場として、絵画・写真等の展示スペースを提供した。 【12回・計：62,981名】

- ・4月28日(木)～5月10日(火)「第8回ふるさと俳画展」
- ・5月17日(火)～6月10日(火)「北川宗親油彩画展」
- ・7月30日(土)～8月28日(日)「2016年夏休み 児童はにわ展」
- ・9月3日(土)～9月19日(日)「喜びの写真-伊藤健一追悼展」
- ・10月4日(日)～10月16日(土)「写友会花みずき 想いのままに」
- ・10月21日(金)～10月30日(日)「河内の古民家写真展」
- ・11月1日(火)～11月12日(度)「よつばの会 油画作品展」
- ・11月15日(火)～11月20日(日)「MOA美術館南河内児童作品展」
- ・2月2日(火)～2月23日(火)「大和川・洪水との戦い(河内国分村の場合)」
- ・2月19日(日)～3月5日(日)「Konokono ART展」
- ・3月14日(火)～3月20日(月・祝)「かなん写真クラブ作品展」
- ・3月22日(水)～4月2日(木)「太子町切り絵サークル作品展」

(6) ボランティアの活用・募集、観光ボランティアへの支援

継続してボランティアを募集し、講演会・体験学習などの事業への支援活動を行っていただいた。実施内容としては、さくらまつり・こどもファーストデイ・特別展開会式およびボランティア会議・古墳時代まつり・古代衣裳体験・講演会・れきしウォーク・博物館バックヤード探検ツアー・

こども工作室などがある。

【登録 23 名・協力のべ人数 78 名】

(7) その他の事業

ア. うめまつりの開催

3月3日(金)～3月5日(日)実施。講演会などを開催。【期間中総入館者 3,937 名】

講演会 3月4日(土) 「人生 100 年」安藤忠雄 氏 【517 名】

イ. さくらまつりの開催

3月25日(土)～3月26日(日)実施。ポスターでペーパーバッグをつくろう【139 名】、古代

衣裳着用体験【139 名】などを実施。【期間中総入館者 1,969 名】

5. 「博物館 in school」事業—博学連携事業

(1) 小学校の団体見学受け入れ

事前に教員の下見を随時実施し、ワークシートなどの解説を行うことにより事前学習の一助とした。また、見学当日には、学芸員によるガイダンスを行うとともに、各種の体験学習を実施した。

【23 校 23 件 入館者数:1,728 名】

<河南町>白木小学校

<太子町>山田小学校

<富田林市>喜志小学校、大伴小学校、向陽台小学校

<河内長野市>楠小学校、美加の台小学校

<千早赤阪村>千早小吹台小学校、赤阪小学校

<松原市>天美小学校、松原東小学校

<枚方市>藤阪小学校、殿山第二小学校

<寝屋川市>寝屋川第五小学校

<八尾市>亀井小学校

<堺市>八田荘西小学校、西百舌鳥小学校、黒山小学校

<奈良県斑鳩町>斑鳩小学校

<奈良県五條市>五條小学校

<奈良県香芝市>真美ヶ丘東小学校

<和歌山県海南市>巽小学校

<兵庫県伊丹市>鴻池小学校

(2) 高等学校、中学校等の見学受け入れ

【6 校 6 件 入館者数:489 名】

高等学校 <府立>泉北高等支援学校、西浦支援学校

<私立>南山高等学校(名古屋市)

中学校 <大阪市>聴覚特別支援学校(中学部)

＜私立＞大谷中学校、関西大倉中学校

(3) 出前授業

小学校、中学校、高等学校に学芸員が出向き、ワークショップ（体験学習）を通じて、古墳・飛鳥文化の理解に努め、館に親しみをもってもらい、また、体験学習で製作した作品を博物館内に展示する機会を設け、来館を促した。大学には博物館実習等の一環として出張講座を行った。

ア. 小学校

【66回 実績：2,764名】

＜河南町＞中村小学校

＜太子町＞磯長小学校

＜羽曳野市＞駒ヶ谷小学校、埴生南小学校

＜富田林市＞高辺台小学校、伏山台小学校、向陽台小学校、喜志小学校

＜河内長野市＞美加の台小学校

＜千早赤阪村＞赤坂小学校

＜大阪市＞依羅小学校、中央小学校、聖賢小学校、桃陽小学校、焼野小学校、今川小学校、成育小学校、北恩加島小学校、柏里小学校、関目東小学校、南港光小学校、太子橋小学校

＜枚方市＞殿山第一小学校、樟葉北小学校、伊加賀小学校、交北小学校

＜大東市＞北条小学校

＜八尾市＞高美南小学校

＜堺市＞津久野小学校、黒山小学校、白鷺小学校、竹城台小学校

＜岸和田市＞新条小学校、城東小学校

＜貝塚市＞二色小学校

＜岬町＞淡輪小学校

＜豊中市＞庄内南小学校

＜箕面市＞北小学校

＜高槻市＞清水小学校

＜奈良県御所市＞秋津小学校

＜兵庫県伊丹市＞鴻池小学校

イ. 中学校、高等学校、大学

【37回 実績：824名】

(4) 学校団体利用案内の作成

学校団体が来館する際の利用手引を作成し、利用を促した。また、近隣関連施設とも含めたコースの提案もすすめた。

(5) 教員の研修、研究団体の受け入れ

教員や研究団体等の研修を博物館で行うように誘致し、連携を深めた。教員研修では学校教育での博物館施設の活用連携を深めた。

【3件 計22名】

7月26日(火) 教職員自主研修(1回目)

10月26日(水) 国際協力機構研修 国際研修博物館学コース

12月27日(火) 教職員自主研修(2回目)

(6) 学習用ワークシートの作成

博物館での児童生徒の学習意欲を促し、展示に対する興味を喚起するためにワークシートを作成した。「近頃の楽しみ方・指令書・お魚さがそう・おしゃれな古代人・展示キットで遊ぼう・風土記の丘ラリーカード」

【計6種】

(7) 大学生博物館学実習および芸術大学実習・高校生学習

各大学から学芸員課程の履修学生を受け入れ、博物館学実習を行った。芸術大学の映像学科、文芸学科等の実習の場として博物館、風土記の丘の利用を支援し、また高校生の研修の場とした。

【15件 計497名】

4月8日(金) 大阪芸術大学 文芸学科フレッシュマンキャンプ

4月8日(金) 大阪芸術大学 美術学科実習

4月29日(金) 大阪芸術大学 映像学科 創立70周年記念映画「大芸大に進路をとれ」撮影

5月14日(土) 大阪国際大学博物館実習

7月16日(土) 奈良女子大学キャリアデザインゼミナール

7月24日(日) 奈良大学 通信教育部 博物館実習

8月3日(水) 大阪府立今宮高校 夏季集中講座「考古学入門」

8月10日(水)～14日(日) 博物館実習

8月10日(水) 駒澤大学古代史研究室 博物館見学実習

8月11日(木) 滋賀県立大学 田中俊明ゼミ 見学実習

8月30日(火)～9月6日(火) 大阪大谷大学 歴史文化学科 測量実習

10月2日(日) 近畿大学 博物館学講座

10月6日(木) 大阪府立大学大学院生命環境科学研究科「里地里山管理学実習」

10月23日(日) 奈良大学 博物館学講座

12月8日(木) 大手前高校 「集中セミナー」

(8) 大学生・高校生・中学生の職場体験学習

高校生・中学生を受け入れて、博物館事業運営の体験学習を実施し、将来の職業選択の参考とする体験を支援した。

【7件 計28名】

8月17日(水) 文化財保護課インターンシップ

10月25日(火) 河南町立中学校 職業体験

11月10日(火)～11日(水) 富田林市立喜志中学校 職業体験

11月10日(火)～11日(水) 太子町立中学校 職業体験

11月17日(木)～18日(金) 富田林市立第三中学校 職業体験

12月6日(火)～7日(水) 富田林市立第一中学校 職業体験

12月8日(木)～9日(金) 河内長野市立千代田中学校 職業体験

(9) 一日館長の選定

地元住民、特に児童に対して、地元の文化財や大阪府の古墳飛鳥文化の理解に努める一環として、児童による一日館長を任命した。博物館に親しみをもってもらい、利用活用を促す機会とした。太子町立磯長小学校、山田小学校の6年生徒2名を選定。8月7日(日)に就任式を行い、白石館長講演会の開会挨拶、児童はにわ展表彰式の記念品贈呈、博物館探検ツアー隊長などの業務に従事した。

(10) 2016 夏休み児童はにわ展

夏休み期間の近つ飛鳥ギャラリーで、出前授業で行った25校の埴輪づくりの作品展を実施した。優秀作品に「館長賞」「古墳の埴輪賞」「平成の埴輪賞」「ホッとユーモア賞」を選定し、8月7日(日)に表彰式を実施した。

会期 7月30日(土)～8月28日(日)

【7,014名】

(11) 地元大学との連携

大阪芸術大学のポスターデザイン作品発表の場として博物館を活用していただき、冬季企画展ポスター・チラシ・リーフレットは大阪芸術大学芸術学部デザイン学科3回生が制作した。また映像学科 創立70周年記念映画「大芸大に進路をとれ」の撮影を受け入れたほか、大阪芸術大学学園祭に出展し、創作活動の素材としての博物館について紹介した。

6. 「どこでも博物館」事業

(1) れきしウォーク(現地見学会)

学芸員が実地での遺跡見学会を実施し、古墳を中心とした歴史遺産の現状を紹介するとともに、来館の機会を促した。各特別展関連行事に加え、定例行事として定期的で開催した。

- ・4月9日(土)「羽曳野南部の古墳をめぐる」 【参加人数：28名】
- ・5月15日(日)「新沢千塚古墳群を歩く」 【参加人数：88名】
- ・9月18日(日)「土師の里の古墳をめぐる」 【参加人数：31名】
- ・10月23日(日)「天理市北部の古墳を歩く」 【参加人数：61名】
- ・12月18日(日)「摂津猪名野の古墳をめぐる」 【参加人数：31名】
- ・3月12日(日)「京都久津川の古墳をめぐる」 【参加人数：41名】

(2) 出張講座

公民館・図書館等へ学芸員が出向き、講演や体験学習を実施し、古墳・飛鳥文化の理解に努め、成人の生涯学習を支援した。また、来館の機会を促した。

①出張講座（当館学芸員・客員学芸員）

- ・4月16日（土）朝日カルチャー歴史散歩「話題になった飛鳥の古墳を訪ねる」玉井 功 【17名】
- ・5月8日（日）伊丹市文化財ボランティアの会設立20周年記念講演会
「伊丹の古墳時代とヤマト王権」森本 徹 【61名】
- ・5月21日（土）朝日カルチャー歴史散歩「向日丘陵の遺跡を訪ねる」玉井 功 【17名】
- ・6月4日（土）今城塚古代歴史館 連続講座「古墳を学ぶ」
「葬送儀礼からみた古墳」廣瀬時習 【92名】
- ・6月11日（土）緑水苑ウォーク歴史探訪「狭山池博物館とその周辺をめぐる」玉井 功 【15名】
- ・6月18日（土）朝日カルチャー歴史散歩「近江国府跡と建部神社を廻る」玉井 功 【18名】
- ・6月19日（日）枚方古代史友会6月度研修会
「葛城氏とヤマト王権ー古代氏族の盛衰ー」森本 徹 【30名】
- ・7月7日（木）奈良女子大学キャリアデザインゼミナール 博物館で学ぶ
「近つ飛鳥博物館 立地とその歴史的背景について」森本 徹 【9名】
- ・7月16日（土）朝日カルチャー歴史散歩「黒姫山古墳と河内鑄物師の故里をめぐる」玉井功 【16名】
- ・8月18日（木）太子町立竹ノ内街道歴史資料館歴史講座
「一須賀古墳群の諸問題ー最近の研究からー」森本 徹 【40名】
- ・8月26日（金）堺市立女性センター堺自由の泉大学「豪族居館を考える」森本 徹 【73名】
- ・9月9日（金）堺市立女性センター堺自由の泉大学「継体大王の即位と宮」森本 徹 【73名】
- ・9月10日（土）緑水苑ウォーク歴史探訪「交野天神社と樟葉台場跡を訪ねる」玉井 功 【13名】
- ・9月17日（土）朝日カルチャー歴史散歩「秦氏の跡を訪ねて寝屋川市を歩く」玉井 功 【16名】
- ・10月6日（木）トンボの眼 特別講演会「初期ヤマト王権の経済基盤」森本 徹 【46名】
- ・10月8日（土）緑水苑ウォーク歴史探訪「飛鳥の古墳を訪ねる(2)」玉井 功 【13名】
- ・10月15日（土）朝日カルチャー歴史散歩「埴輪祭祀の古墳と古代寺院跡を見る」玉井 功 【17名】
- ・10月23日（日）NHK名古屋文化センター連続講座「大王と巨大古墳の謎」①
「百舌鳥・古市古墳群の出現とヤマト王権」白石太一郎 【53名】
- ・11月2日（水）陵南の森公民館 歴史文化講座「古墳副葬品の謎に迫る」①
「三角縁神獣鏡の謎」市村慎太郎 【62名】
- ・11月9日（水）陵南の森公民館 歴史文化講座「古墳副葬品の謎に迫る」②
「腕にはめない？腕輪形石製品」市村慎太郎 【55名】
- ・11月19日（土）朝日カルチャー歴史散歩「百舌鳥古墳群をめぐる」玉井 功 【17名】
- ・11月19日（土）伊丹生涯学習センター 伊丹ロマン事業地域歴史講座
「古墳時代の動物って、どなん？」森本 徹 【90名】
- ・11月27日（日）NHK名古屋文化センター連続講座「大王と巨大古墳の謎」②

- 「【現地講座】巨大古墳の実像」廣瀬時習 【28名】
- ・12月7日(水) 陵南の森公民館 歴史文化講座「古墳副葬品の謎に迫る」③
「倭の五王の鏡」廣瀬時習 【53名】
 - ・12月17日(土) 朝日カルチャー歴史散歩「香芝市の終末期古墳と白鳳寺院を訪ねる」玉井功 【17名】
 - ・12月21日(水) 陵南の森公民館 歴史文化講座「古墳副葬品の謎に迫る」④
「甲冑はなぜ多量に埋められたのか？」森本 徹 【49名】
 - ・12月25日(日) NHK 名古屋文化センター連続講座「大王と巨大古墳の謎」③
「百舌鳥・古市古墳群出現前夜」市村慎太郎 【51名】
 - ・1月11日(水) 陵南の森公民館 歴史文化講座「古墳副葬品の謎に迫る」⑤
「玉と装身具」廣瀬時習 【51名】
 - ・1月21日(土) 朝日カルチャー歴史散歩「平城宮で朝賀の儀を体感する」玉井 功 【13名】
 - ・1月22日(日) NHK 名古屋文化センター連続講座「大王と巨大古墳の謎」④
「河内政権と葛城氏」森本 徹 【52名】
 - ・1月25日(水) 陵南の森公民館 歴史文化講座「古墳副葬品の謎に迫る」⑥
「馬の伝来と馬具」森本 徹 【51名】
 - ・2月16日(木) エル・おおさか歴史セミナー 文字から探る考古学
「古代墳墓と墓誌の謎」森本 徹 【63名】
 - ・2月18日(土) 朝日カルチャー歴史散歩「豊中市金寺廃寺と桜塚古墳をめぐる」玉井 功 【15名】
 - ・2月21日(火) トンボの眼 特別講演会「初期ヤマト王権の対外交渉」森本 徹 【40名】
 - ・2月26日(日) NHK 名古屋文化センター連続講座「大王と巨大古墳の謎」⑤
「河内の渡来人とヤマト王権」廣瀬時習 【48名】
 - ・3月11日(土) 緑水苑ウォーク歴史探訪「終末期古墳と白鳳寺院を訪ねる」玉井功 【16名】
 - ・3月18日(土) 朝日カルチャー歴史散歩
「キトラ古墳と檜隈寺周辺に渡来人の痕跡を見る」玉井 功 【15名】
 - ・3月26日(日) NHK 名古屋文化センター連続講座「大王と巨大古墳の謎」⑥
「ワカタケル大王の時代」市村慎太郎 【47名】
 - ・3月30日(土) 朝日カルチャー
「発掘調査で何が解ったのかー平成28年度畿内を中心に」玉井 功 【18名】
- ②出張ワークショップ(公的機関・組織)
- ・6月11日(土) 香芝市尼寺廃寺跡史跡公園「ムジークフェストなら」古代衣裳体験 【18名】
 - ・7月17日(日) 堺都市緑化センター「目指せ世界遺産! はにわづくり体験」 【38名】
 - ・7月29日(土) 島本町青少年人権教育事業「親子で勾玉づくり体験!」 【100名】
 - ・8月3日(水) 古市古墳群に学ぼう「はにわづくり」 【10名】

- ・9月9日(金) 藤井寺高校 文化祭「変身コーナー」古代衣裳体験 【55名】
- ・10月22日(土) 島本町放課後こども教室「勾玉づくり」 【60名】
- ・12月10日(土) 大阪府住宅供給公社 子育て応援フェア親子でワークショップ 【77名】

③出張ワークショップ(民間)

- ・7月3日(日) あべのハルカス まなぼスタジオ 夏のこどもチャレンジ
はにわ貯金箱を造ろう 【72名】
- ・8月16日(火) 阪急西宮 コトコトステージ「勾玉づくり」 【44名】
- ・8月20日(土) 道明寺天満宮 宮小屋「はにわづくり」 【22名】

④でかける博物館講座『考古学からみる古代の生活4』(近鉄文化サロン共催)

- ・7月21日(木) 「古墳からみた上毛野氏」小野寺洋介(当館学芸員) 【101名】
- ・9月15日(木) 「古墳からみた葛城氏」白石太一郎(当館館長) 【109名】
- ・11月17日(木) 「古墳からみた尾張氏」廣瀬時習(当館総括学芸員) 【104名】
- ・1月19日(木) 「古墳からみた物部氏」市村慎太郎(当館総括学芸員) 【106名】
- ・3月16日(木) 「古墳からみた蘇我氏」森本 徹(当館副館長兼学芸課長) 【115名】

(3) 出張展示

実物資料や写真パネル等、館外での出張展示を行った。歴史教育の一助とするとともに、当館の認知度アップにもつなげた。

4月26日(火)～5月22日(日) 大阪府立狭山池博物館
「一須賀古墳群の小さなかまど」 【12,944名】

3月9日(木)～6月6日(火) 国立民族学博物館
開館40周年記念特別展「ビーズ 一つなく・かざる・みせる」 【12,017名(3月分)】

(4) 地元市町村との連携

地元市町村や自治会等の文化祭、遺跡発掘現地説明会などの催しへ積極的に参加した。

- ・4月24日(日) なんでも鑑定団 in 河南(収録協力) 【407名】
- ・4月29日(金・祝) 世界遺産を大阪に! グリーンフェスタ羽曳野(古代衣裳貸出し) 【76名】
- ・7月22日(金) 平成28年度太子町青色防犯パトロール隊全体会議 【27名】
- ・8月20日(土) 「もず・ふるいち古墳群」を体感しよう! 土器パズル 【48名】
- ・8月21日(日) 「もず・ふるいち古墳群」を体感しよう! 土器パズル 【78名】
- ・10月23日(日) 大宝まつり 勾玉作り 【100名】
- ・11月17日(木) 平成28年度南河内地区市町村教育委員研修会 【50名】
- ・11月27日(日) かなんフェス「考古学者へタイムアタック」
土器パズル・世界遺産塗り絵 【42名】
- ・2月18日(土) 太子町「古代衣裳ファッションショー」 【678名】

・3月5日(日)リレーマラソン in 羽曳野・石川河川公園!

【100名】

7. 「体験する博物館」事業

(1) 夏季企画展関連行事 三角縁神獣鏡 魔鏡現象再現

夏季企画展の内容に関連し、京都美術工芸大学教授、村上隆氏作成の三角縁神獣鏡のレプリカを用い、魔鏡現象の再現を行った。

・7月24日(日)

【73名】

(2) 夏休み子ども工作室

小中学生を中心として、その保護者と共に、古墳時代にかかわるものを、リサイクル品などさまざまな素材を用いて作る工作室を開催した。

・8月14日(日)

【126名】

(3) こども勾玉づくり工房

小中学生とその保護者を対象にして、勾玉づくりを行った。

・7月30日(日)【33名】、8月6日(土)【23名】、8月28日(日)【34名】

(4) 古代衣裳着用体験

文化庁の平成22年度地域伝統文化総合活性化事業において作製した古墳時代・古代の復元衣裳を活用し、来館者および出張展示で着用体験していただいた。

・5月3日(火・祝)古墳時代まつり 当館

【84名】

・5月5日(木・祝)当館

【32名】

・6月11日(土)ムジークフェストなら

【18名】

・9月9日(金)大阪府立藤井寺高等学校文化祭 PTA

【55名】

・11月13日(日)当館

【60名】

・3月25日(土)さくらまつり 当館

【53名】

・3月26日(日)さくらまつり 当館

【86名】

(5) こどもファーストデイ

大阪府の「こころの再生」施策の一環として毎月第3土曜日に実施した。家族のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを応援した。廃材などを有効に活用することで、エコ活動の意識を醸成するとともに、伝統的な玩具などの工作を行った。

【12回・652名】

・4月16日(土) ぶんぶんごま

・5月21日(土) 紙コップでコケッココー

・6月18日(土) 迷路ボックス

・7月16日(土) ぴゅんぴゅん鳥

・8月20日(日) ひっぱるテレビ

- ・ 9月17日(土) 手づくりの竹トンボ
- ・ 10月15日(土) レーシングカー
- ・ 11月19日(土) ガラガラ抽選機
- ・ 12月17日(土) いそげ!サンタさん
- ・ 1月21日(土) 割りばし飛行機
- ・ 2月18日(土) とんとんずもう
- ・ 3月18日(土) もういちど「ガラガラ抽選機」

8. 企業との連携事業

(1) 展示・広報・イベント等での協働

近鉄文化サロン等の近鉄グループと連携を通して、講座等を共同で実施し、広報や企画に関して民間の視点から協力を得た。6(2)④参照。

(2) 遺跡見学ツアー

旅行会社と連携し、遠方へのツアーを共同企画した。

- | | | | |
|------------------|----------|--------------|-------|
| 10月10日(木)～12日(土) | 国際交流サービス | 群馬・埼玉の古墳を訪ねて | 【42名】 |
| 12月14日(水)～16日(金) | 国際交流サービス | 宮崎の巨大古墳を巡る旅 | 【38名】 |
| 2月7日(火)～9日(木) | 国際交流サービス | 安芸・備後の古墳を巡る旅 | 【38名】 |

9. 広報普及研究事業

(1) 機関紙「アスカディア・古墳の森」(博物館だより)の発行

展示会の案内、博物館活動の報告、タイムリーな話題や収蔵品の紹介を掲載して、博物館と府民のコミュニケーションを図るPR誌を年2回発行した。

博物館だより Vol.45 9月30日発行 4,000部

博物館だより Vol.46 3月31日発行 4,000部

(2) 近つ飛鳥博物館「館報」の刊行

館長以下、学芸員の研究報告、博物館活動の紹介、年間事業報告などを掲載する館報を刊行した。

3月31日発行

(3) 催し物案内の作成

府民や各種団体に博物館行事の周知を図り、来館を促すためのチラシを作成した。3か月単位のミュージアムカレンダーを作成・配布した。

(4) マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

新聞、テレビ、ラジオの報道機関、ミニコミ誌へ積極的に情報を提供した。鉄道会社にはポスター掲示をし、広くPRした。また、博物館周辺の地域住民へは自治会を通じて実施した。

(5) 広報の強化

インターネットの博物館情報サイト等の活用や、近畿圏の博物館との広報連携を通じて、より効果的な広報活動を展開した。

(6) ホームページの充実

常設展・特別展・企画展の情報・博物館催し物案内など、近つ飛鳥博物館ホームページから発信した。学芸員の活動等はブログで即時的に発信し、内容の充実に努めた。

【HP更新 149 回・アクセス数 141,892】

10. 研究事業

(1) 他博物館などと連携した研究活動

大阪府、奈良県の博物館が連携した「金剛葛城地域博物館ネットワーク協議会」に加盟し、情報・意見交換、共同事業（今年度はネットワーク参加館におけるスタンプラリー）の開催など、相互協力した事業を進めた。また、学会・研究会等と連携した活動にも努めた。

(2) 国内・海外の研究者との学術交流

国内大学等研究者【230 名】、海外研究者【13 名】

(3) 研究成果の発表

近つ飛鳥博物館「館報」や土曜講座、外部依頼の講座において、研究成果を掲載し、発表した。

(4) 客員学芸員の任命

学芸機能の充実のため、外部より客員学芸員 2 名を任命し、特別展企画展事業への指導・助言、普及活動の実施、図録の原稿執筆、講演会事業などでの助力を得た。

11. 資料調査収集製作事業

(1) 図書購入

学術図書並びに普及啓発用図書を計画的に購入した。

(2) 館蔵資料の資料管理、学術的整理

重要文化財「修羅」、紫金山古墳、南塚古墳出土品など、定期的な点検を実施した。また、館蔵資料の観察記録作成などの資料整理を行った。

12. サービス事業

(1) 特別開館日の設定

来館者の多い、5 月の GW 期間中の月曜日（5 月 2 日）を臨時開館して利用者への便宜を図った。

(2) マーケットリサーチ、満足度調査の実施

アンケート等により、来館者の博物館に対するニーズを明確にし、今後の事業展開の基礎とした。

(3) ミュージアムスタッフの人材育成研修

来館者に対するきめ細やかなサービスを行うため、展示解説研修を実施した。

(4) 設備の更新

警備員室空調機更新工事を行った。

屋内階段照明の一部をLED化した。

屋外階段の排水樋会所の通管作業を行い、雨天時の滞水を改善した。

風土記の丘トイレの修繕を行った。

特別収蔵庫の蒸気発生装置の調整、修繕を行った。

修羅室の空調室内機の修繕を行った。

特別展示室展示ケースの照明の一部をLED化した。

1.3. 自主事業

当館にふさわしい魅力あるグッズの販売に努め、新規取扱商品を増やした。

1.4. 文化庁補助金事業

文化庁による平成28年度地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業として、「大阪府立近つ飛鳥博物館 親から子へ伝える、近つ飛鳥の歴史遺産価値創造事業」を実施した。近つ飛鳥の歴史遺産事業実行委員会（当館、公益財団法人大阪府文化財センター、NPO 法人フィールドミュージアムトーク史遊会、羽曳野市教育委員会、河南町教育委員会）を組織し、博物館の所在する「近つ飛鳥」地域の歴史的重要性を広く周知した。具体的な活動として、以下の事業を実施した。

- ・遺跡検索プログラムの作成・公開
- ・シンポジウムの実施

2月5日（日）『近つ飛鳥と遠つ飛鳥－ふたつの飛鳥の古代史』 【630名】

「ふたつの飛鳥の古代史」佐藤 信 氏（東京大学大学院教授）

「ふたつの飛鳥の横口式石槨」白石太一郎（当館館長）

「近つ飛鳥の終末期古墳」伊藤聖浩（羽曳野市教育委員会）

「遠つ飛鳥の終末期古墳」西光慎治 氏（明日香村教育委員会）

「ふたつの飛鳥の古代寺院」市本芳三（公益財団法人大阪府文化財センター）

討論司会／森本 徹（当館副館長兼学芸課長）

- ・小冊子『近つ飛鳥への招待』の刊行（部数 4,000冊 無料配布）
- ・史跡見学マップ『近つ飛鳥をあるく』の刊行（部数 5,000部 無料配布）
- ・連続講座の開催 全7回 内容は3（3）参照 【延べ参加者数 140名】

14. 入館者数及び入館料一覧

(平成28年度)

区分	入館者数					入館料 (円・税込)	開館日数 (日)
	展示室入館者数			普及ゾーン	博物館		
	有料	無料	計	利用者数	総入館者数		
常設展	2,819	2,359	5,178	15,964	21,142	673,380	105
割合 (%)	20.2	14.3	17.0	26.8	23.5	14.0	
春季特別展 古墳とは何か	3,985	4,913	8,898	11,941	20,839	1,657,600	51
割合 (%)	28.5	29.8	29.2	20.1	23.1	34.4	
夏季企画展 古代人がみた色と光	2,538	2,149	4,687	7,633	12,320	795,840	50
割合 (%)	18.1	13.0	15.4	12.8	13.7	16.5	
秋季特別展 大王と豪族	2,762	3,824	6,586	9,965	16,551	1,123,800	50
割合 (%)	19.7	23.2	21.6	16.7	18.4	23.3	
冬季企画展 歴史発掘おおさか2016	1,884	3,241	5,125	14,048	19,173	567,580	51
割合 (%)	13.5	19.7	16.8	23.6	21.3	11.8	
合計	13,988	16,486	30,474	59,551	90,025	4,818,200	307
割合 (%)	100	100	100	100	100	100	

<年度比較>

平成27年度実績	18,290	16,003	34,293	66,725	101,018	6,846,080	309
平成26年度実績	18,006	15,513	33,519	74,541	108,060	6,459,560	306
平成25年度実績	16,787	13,961	30,748	71,961	102,709	6,264,240	305

VI 泉佐野市立歴史館いずみさの事業

1. 常設展示

泉佐野を代表する歴史遺産である中世荘園の日根荘の時代をテーマにした展示。その時代の人びとのくらしなどを当時の絵図や日記、荘園模型をもとに紹介。必要に応じて展示資料の解説を実施した。

2. 特別展企画展館蔵品展事業

特別展示スペースを使用して、6回の展覧会を実施した。

(1) 春季館蔵品展「日根対山と小川翠村—春から秋の作品」 【入館者数：899名 35名/日】

ア. 開催趣旨 郷土の2人の画家が描いた春から秋にかけての選りすぐりの作品を紹介した。

イ. 開催期間 平成28年4月1日(金)～5月1日(日) 【会期：26日間】

(2) 春季特別展「卑弥呼の時代と泉州 —拠点集落「下田遺跡」を探る—

【入館者数：1,899名 38名/日】

ア. 開催趣旨

下田遺跡は堺市を流れる石津川の下流域、下田町周辺に位置する遺跡で、堺市内5例目となる銅鐸が出土し注目された。弥生後期から古墳前期にかけての時代に大きな集落が形成され、多量の土器や木製品が出土した。木製品には農工具の他、蓋(きぬがさ)形木製品、短甲、威儀具など、普通の集落では出土しない特殊な遺物である。古墳前期末になると、近接した百舌鳥丘陵で百舌鳥古墳群が誕生し、下田遺跡はこれらにかかわる重要な鍵を握る遺跡と考えられる。泉州地域の重要な遺跡を紹介した。

イ. 開催期間 平成28年5月14日(土)～7月10日(日) 【会期：50日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した特別展講演会を実施した。

第1回 5月21日(土)「卑弥呼の時代と下田遺跡」 西村 歩(当館副館長) 【参加者数：55名】

第2回 6月18日(土)「古墳のはじまり」 西村 歩(当館副館長) 【参加者数：54名】

エ. 学芸員による展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、希望に応じて随時展示解説を行った。

5月21日(土)32名、6月2日(木)9名、6月18日(土)15名 【3回：計56名】

(3) 夏季館蔵品展「全国おもちゃ紀行」 【入館者数：1,371名 37名/日】

ア. 開催趣旨 館蔵資料の中から、全国の郷土玩具をテーマにそって紹介した。

イ. 開催期間 平成28年7月23日(土)～9月4日(日) 【会期：37日間】

ウ. 学芸員による展示解説 特別展示室において学芸員が展示解説を行った。7月30日(土)【1回：5名】

(4) 秋季特別展「奈良の都と泉佐野」 【入館者数：1,725名 34名/日】

ア. 開催趣旨

泉佐野市立長南小学校の敷地を中心とする諸目遺跡は古代の役所に関わる遺跡であると考えられる。当センターでは泉佐野市の委託で当遺跡の調査を行い、古代の倉庫群と考えられる建物跡とともに特異な亀形土器が出土するなど、遺跡の性格を考える上において重要な調査所見がもたらされた。今回の展示では同じころの平城京の資料との対比も行い、中央と地方の関係を考古学的に考えた。

イ. 開催期間 平成28年9月17日(土)～11月13日(日) 【会期：46日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会を数回実施した。

第1回 9月24日(土)「奈良の都と古代の泉佐野」 田邊征夫(当館館長) 【参加者数:27名】

第2回 10月15日(土)「諸日遺跡と律令社会」 西村 歩(当館副館長) 【参加者数:23名】

エ. 学芸員による展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、希望に応じて随時展示解説を行った。

9月24日(土)20名、10月15日(土)10名 【2回:計30名】

(5) 特別展示「泉佐野の文化遺産～文化遺産を未来へつなぐ～」 【入館者数:951名 29名/日】

ア. 開催趣旨

泉佐野市内の貴重な文化遺産を未来の世代に引き継ぎ、活かすための方針づくりに向けて、泉佐野市では平成28年度文化庁文化遺産を活かした地域活性化事業補助金を活用し、市内の文化財を総合的に把握するための調査を実施した。地域の文化遺産を紹介し、それらを次世代へ受け継いでいくための一助とした。

イ. 開催期間 平成28年12月1日(木)～平成29年1月15日(日) 【会期:33日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会を実施する。

平成29年1月14日(土)「文化遺産を未来へつなぐ3」

- ・「文化遺産をいかに活かすか」 田邊征夫(当館館長)
- ・「建造物群のある風景」 登谷伸宏(京都橘大学助教)
- ・「遺跡群と文化財が複合した景観」 一瀬和夫(京都橘大学教授)
- ・「文化遺産のある街・ムラの新展開」 杉本 宏(宇治市都市整備部歴史まちづくり推進課主幹)

(6) 冬季企画展「道具今昔」 【入館者数:1,914名 31名/日】

ア. 開催趣旨

わたしたちの暮らしを便利にする「道具」。道具たちには、役割によってさまざまに工夫され、使われてきた。発掘調査で出土した古墳時代のカマドやちょっと昔の道具を展示し、先人たちの知恵や工夫、暮らしの様子を紹介した。

イ. 開催期間 平成29年1月28日(土)～3月26日(日) 【会期:48日間】

ウ. 講演会 開催に際し、展示に即した講演会を数回実施する。

エ. 学芸員による展示解説 講演会開催日に特別展示室において学芸員が展示解説を行うほか、希望に応じて随時展示解説を行う。

3. エントランスホールの運営

(1) さわれる民具コーナー

昔の民具に触れ、体験できるようにした。

(2) 資料コーナー

日根荘及び歴史に関する図書を自由に閲覧できる場を設けた。また、子どもに親しんでもらうよう折り紙と塗り絵を設置した。

(3) 日根荘コーナー

日根荘模型を展示し、日根荘を紹介した。日根荘を紹介するビデオも上映した。

(4) 市民連携活動 市民が参加する歴史館(歴史館ギャラリー)

市民の創作活動を発表する場として、エントランスホールを歴史館ギャラリーとし、絵画、写真等の作品展を自主事業として実施した。

①「泉佐野由来の陶芸作品展」 【入館者数：523名 47名/日】

ア. 開催趣旨

泉佐野市在住の陶芸家が、泉佐野に由来する素材…イチョウ、水ナスの造形を作品とした。

泉佐野市内の様々な場所の土を使用し、高度な技術を駆使して制作した陶芸作品を展示した。

イ. 開催期間 平成28年10月25日(火)～11月6日(日) 【会期：11日間】

②「世界文化遺産を大阪へ」 【入館者数：951名 29名/日】

ア. 開催趣旨

世界遺産や、世界遺産登録を目指す百舌鳥・古市古墳群についてのパネル展示をした。

イ. 開催期間 平成28年12月1日(木)～平成29年1月15日(日) 【会期：33日間】

4. 資料収集・保管

(1) 寄贈等された図書登録

各博物館・各市町村等から歴史館へ寄贈等された図書を図書台帳に登録し、書庫へ配架した。

(2) 資料の保管

展示室、一般収蔵庫、特別収蔵庫の温度湿度を常時監視し、適温適湿の維持に務めた。一般収蔵庫・特別収蔵庫においては燻蒸処理を実施した。 【燻蒸処理実施 平成28年10月18日、平成29年3月9日】

5. 資料貸出等

当館所蔵の資料(実物・復元・写真・映像等)を全国各地の博物館等へ貸出し、所蔵資料を活用するとともに、各方面へ日根荘に関する情報を発信した。 【資料13件・17点/写真3件・8点】

6. 普及事業

(1) 館長講演会

春と秋の年2回、田邊征夫館長による講演会を実施した。

①春の館長講演会 4月23日(土)「世界遺産と地域遺産」 【参加者数：17名】

②秋の館長講演会

9月24日(土) 秋季特別展講演会 第1回「奈良の都と古代の泉佐野」 【参加者数：27名】

(2) 日根荘講座(中世史講座)

「日根荘」は鎌倉時代から戦国時代にかけての九条家領の荘園である。地域にとって重要な遺跡である。その価値はそれに留まるものではなく、現景観からその面影を知ることができる稀有な例であり、その重要性を発信した。

「中世の歴史を知る一日根荘の時代背景」全4回 吉村達也(当館ミュージアムスタッフ)

第1回 6月26日(日)「土地制度の変遷-日根荘成立前の土地制度と武士の誕生-」 【参加者数：30名】

第2回 9月17日(土)「九条家-日根荘を成立させた貴族-」 【参加者数：43名】

第3回 11月26日(土)「二つの天皇家と武士」 【参加者数：29名】

第4回 平成29年1月21日(土)「九条政基と細川政元」 【参加者数:31名】

(3) 古文書講座

市教育委員会の協力のもと、実施した。

「古文書を直して読む」全4回

第1回(修復体験) 12月9日(金) 北原翔子(当館学芸員) 【参加者数:13名】

第2回(修復体験) 12月16日(金) 北原翔子(当館学芸員) 【参加者数:11名】

第3回(解説講座) 平成29年1月13日(金) 【参加者数:9名】

東原和代(泉佐野市教育委員会教育総務課文化財係)

第4回(解説講座) 平成29年1月20日(金) 【参加者数:8名】

廣田浩治(泉佐野市教育委員会教育総務課文化財係)

(4) 歴史講座(考古学入門講座)

歴史を学びたい方を対象に、考古学をテーマとした歴史講座を実施した。全4回 西村 歩(当館副館長)

第1回 7月9日(土)「考古学の基礎」 【参加者数:32名】

第2回 11月5日(土)「地形を読む」 【参加者数:25名】

第3回 12月17日(土)「古墳時代概説」 【参加者数:22名】

第4回 平成29年2月18日(土)「古代ローマ都市・ポンペイ」 【参加者数:29名】

(5) 子ども向け体験(土曜れきし館ワークショップ)

子ども向けの体験事業を定期的開催した。スタンプカードを作成し、継続的な学習、来館を促進した。

5月14日(土)「プラバンでミニ銅鐸をつくろう」 【参加者数:9名】

6月11日(土)「折り紙で七夕かざりをつくろう!」 【参加者数:10名】

7月30日(土)「むかしの遊びを体験しよう!」 【参加者数:18名】

8月27日(土)「簡単手作り☆むかしのおもちゃ」 【参加者数:21名】

9月10日(土)「紙すきで手作りハガキをつくろう!」 【参加者数:20名】

10月1日(土)「チリメンモンスターを探そう!」 【参加者数:45名】

(協力:きしわだ自然資料館)

11月12日(土)「玉ねぎ染めに挑戦しよう!」 【参加者数:19名】

12月10日(土)「毛筆で年賀状を書こう」 【参加者数:15名】

平成29年1月28日(土)「ダンボールで羽子板をつくろう!」 【参加者数:11名】

平成29年2月4日(土)「鏡を鑄造しよう!」(協力:大阪府立弥生文化博物館) 【参加者数:21名】

平成29年3月11日(土)「起き上がり小法師をつくろう!」 【参加者数:11名】

(6) 夏休みこども歴史教室

泉佐野の歴史を学び、児童の住む郷土の歴史に興味をもたせるための教室を実施した。

・8月20日(土) 夏休みこども歴史教室「泉佐野と豊臣秀頼」 【参加者数:6名】

講師:吉村達也(当館ミュージアムスタッフ)

7. 学校教育連携

(1) 出前授業

幼稚園児から高校生に至るまで、館や郷土の歴史・民俗に親しみをもってもらうため、学芸員等が学校に出かけ、体験学習等を行った。

＜泉佐野市＞長南小学校、日根野中学校、北中小学校、日新小学校、第二小学校、長坂小学校
【6校6回：計453名】

(2) 小中学校の団体受け入れ

各学校との連携により、当館の学芸員が展示解説を行い、展示室での生徒の学習を支援した。

＜泉佐野市＞第一小学校、日根野小学校、大木小学校、中央小学校、末広小学校
【5校5件：計434名】

(3) 博物館実習の受け入れ

8月23日（火）～8月27日（土） 近畿大学 3回生 【2名】
武庫川女子大学 4回生 【1名】

(4) 大学・高等学校、その他団体の受け入れ

小中学校の他、大学、高等学校、その他団体を受け入れ、当館の学芸員が展示解説を行い、学習を支援した。

①大学・高等学校

＜大学＞和歌山大学（2回） 【1校：計28名】

②その他団体

泉佐野市教育委員会、泉佐野市聴言障害部会、日根野中学校教員、大阪府高齢者大学、遊歩楽会、貝塚いぶき作業所、ボランティアガイド、特区ガイド養成ガイド 【8件：計145名】

8. 市民・各種団体連携

(1) いずみさの歴史ウォーク

当センター・近鉄文化サロンと連携し、郷土の史跡や文化財をめぐる歴史ウォークを行った。

10月27日（木） 兵どもの夢の跡-樫井古戦場と熊野古道- 西村 歩（当館副館長）【参加者数：7名】

11月10日（木） 佐野町場迷宮案内 北原翔子（当館学芸員） 【参加者数：5名】

(2) でかける歴史館

他施設において、講演会や体験学習事業等を実施し、歴史館いずみさのの知名度アップを図り、多くの方々の来館を促進した。

①大阪府立弥生文化博物館「新旧学芸員継承ミニシンポジウム」 【参加者数：118名】

6月19日（日）「泉州に残る文化的景観-日根荘遺跡と歴史館いずみさの」

講師：北原翔子（当館学芸員）

②近鉄文化サロン まなぼスタジオ 【参加者数：35名】

8月12日（金）「紙すき」 講師：北原翔子（当館学芸員）

③特区ガイド養成研修 【参加者数：25名】

9月4日（日）歴史・文化「古代・中世・近世」 講師：西村・吉村・乾

10月8日(土) 歴史・文化「近現代・民俗芸能・考古」 講師：北原・西村

- ④佐野公民館 【参加者数：23名】
9月10日(土)「古墳時代の大阪」 講師：西村 歩(当館副館長)
- ⑤きしわだ自然資料館 【参加者数：26名】
10月23日(日)ミニ実習「自分だけのオリジナル独楽をつくろう」 北原翔子(当館学芸員)
- ⑥観光ボランティア養成講座 【参加者数：15名】
10月29日(土)「泉佐野市の歴史的観光資源」 講師：北原翔子(当館学芸員)
- ⑦泉佐野丘陵緑地パークセンター 【参加者数：26名】
10月30日(日)泉佐野丘陵緑地パークレンジャー養成講座
第4回「地域の景観・歴史・文化を学ぼう！」 北原翔子(当館学芸員)
- ⑧イオンモール日根野 【参加者数：72名】
11月13日(日)キッズお仕事体験「歴史館のお仕事体験」 北原・乾
- ⑨大阪府立弥生文化博物館 【参加者数：156名】
平成29年3月25日(土)「身近なものをつくる、昔のおもちゃ」 北原翔子(当館学芸員)

9. 来館者の受入・対応

来館者への案内をし、開館時間中の館内及び展示室内の見回り点検と清掃を実施した。

(1) 「れきし相談コーナー」の設置

「れきし相談コーナー」を設け、来館者からの歴史・考古学に関する質問や相談等にきめ細やかに対応した。

10. 広報公聴活動

(1) 『歴史通信いずみさの』の刊行

館の活動を報告し、博物館に対する市民の理解を得るため、定期的に『歴史通信いずみさの』を刊行した。

・歴史通信いずみさの Vol. 28「春季特別展」

(2) 『広報いずみさの』への掲載

館行事を広く周知するため、泉佐野市の広報誌『広報いずみさの』に行事を随時掲載した。

- ・広報いずみさの3月号 いずみさの昔と今第243回
「日根対山と小川翠村～春から秋の作品～①日根対山が描いた山水図」
- ・広報いずみさの4月号 いずみさの昔と今第244回
「日根対山と小川翠村～春から秋の作品～②小川翠村が描いた『南国の楽土』」
- ・広報いずみさの5月号 いずみさの昔と今第245回「卑弥呼の時代と泉州」
- ・広報いずみさの6月号 いずみさの昔と今第246回「考古学からみた泉佐野の特産品」
- ・広報いずみさの7月号 いずみさの昔と今第247回「まくらに込めた願い～日根神社『まくら祭り』～」
- ・広報いずみさの8月号 いずみさの昔と今第248回「病と闘う人に寄り添う郷土玩具～神農の虎～」
- ・広報いずみさの9月号 いずみさの昔と今第249回「和泉監・和泉国の成立と諸目遺跡」
- ・広報いずみさの10月号 いずみさの昔と今第250回「諸目遺跡と律令社会」

- ・広報いずみさの11月号 いずみさの昔と今第251回

「泉佐野の文化遺産を未来につなぐ～寺社建造物と棟札と古文書～」

- ・広報いずみさの12月号 いずみさの昔と今第252回「重要文化財奥家住宅の古文書」
- ・広報いずみさの1月号 いずみさの昔と今第253回「豊臣家による寺社造営」
- ・広報いずみさの2月号 いずみさの昔と今第254回「苦心と挑戦の果てに～泉州たまねぎの誕生～」
- ・広報いずみさの3月号 いずみさの昔と今第255回「稲の収穫後～稲藁の活用～」

(3) その他情報提供

南海電鉄の情報誌『NATTS』にも情報を提供し、広報活動を充実した。また、泉州・紀北ミュージアムネットワークへの加入を継続し、情報発信した。

- ・南海NATTS5・6月号、7・8月号、9・10月号、11・12月号、1・2月号
- ・泉州・紀北ミュージアムネットワークMネットかわら版 2016春、2016夏、2016秋、2017冬

(4) 歴史館紹介ちらしの配付

出前授業で学校を訪問した際には、生徒各々に来館を促すちらしを配付し、小・中学生を中心とする子どもたちが家族で歴史館に来館する動機づけを進めた。

(5) 特別展・企画展・その他催しのポスター等の作成・配布

ポスター、チラシ、リーフレットを催しの規模に応じて作成し、広報活動に活用した。

(6) 常設展リーフレットの配布

常設展示の内容を簡単に紹介したA4三折りのリーフレットを配布した。

(7) 小学生用のワークシート

小学生が日根荘を学習するワークシート「歴史館チャレンジ」を学年別に配布した。

(8) 解説シート

常設展示の解説シート（3種）等を用意した。

(9) アンケート調査の実施

よりよい館運営を行うため、展示室にアンケート用紙を設置したほか、講演会でアンケート用紙を配付し、来館者の要望や、展示・講演会内容の意見などの把握に努めた。

(10) マスコミへの資料提供

各種イベントごとに報道提供資料を作成し、情報を提供した。

(11) 取材対応

新聞社やテレビ局各社をはじめ情報誌、地元放送局の取材に応じ、情報を発信した。

- ・J:COMりんくう 4月12日(火) 春季館蔵品展 取材
- ・読売新聞社 5月 春季特別展 取材
- ・J:COMりんくう 5月14日(土) 春季特別展 取材
- ・J:COMりんくう 5月14日(土) WS「プラバンでミニ銅鐸をつくろう」取材
- ・J:COMりんくう 6月11日(土) WS「折り紙で七夕かざりをつくろう」取材
- ・J:COMりんくう 7月 考古学入門講座① テロップ
- ・J:COMりんくう 7月26日(火) 夏季館蔵品展 取材
- ・読売新聞社 7月23日(土) 夏季館蔵品展 取材

- ・ J:COM りんくう 9月17日(土) 秋季特別展 取材
- ・ 読売新聞社 9月25日(日) 秋季特別展 取材
- ・ J:COM りんくう 10月1日(土) WS「チリメンモンスターを探そう」取材
- ・ 市民協働課 歴史館ギャラリー モニター
- ・ J:COM りんくう 10月 考古学入門講座② テロップ
- ・ J:COM りんくう 12月6日(火) 特別展示 取材
- ・ J:COM りんくう 1月28日(土) 冬季企画展、WS「ダンボールで羽子板をつくろう」取材
- ・ 産経新聞 2月2日(木) 冬季企画展 取材
- ・ J:COM りんくう 2月4日(土) WS「鏡を鑄造しよう」取材
- ・ J:COM りんくう 3月11日(土) WS「起き上がり小法師をつくろう」取材

(12) インターネットホームページ 【フェイスブック更新：38回】

ホームページおよびフェイスブックによる展覧会、行事の情報発信を行った。

11. 人材育成

(1) ミュージアムスタッフの人材育成研修

人と人とのふれあいを大切に、心地よい博物館を目指して、来館者に対する対応マナーの研修を実施した。

(2) ボランティア活動（市民が参加する歴史館）

広く市民ボランティアを募集し、市民とともに博物館事業を推進した。

12. 施設の利用許可対応

研修室の利用許可の対応を行った。

4月14日(木) 学校教育課 佐人研推進委員会	【利用者数：40名】
5月20日(金) 教育総務課文化財係 奥家調査における委員指導	【利用者数：5名】
5月27日(金) 教育総務課文化財係 奥家調査における委員指導	【利用者数：5名】
6月16日(木) 教育総務課文化財係 奥家調査における委員指導	【利用者数：10名】
6月17日(金) 教育総務課文化財係 奥家調査における委員指導	【利用者数：10名】
6月23日(木) 学校教育課 人権教育研修講座	【利用者数：40名】
6月28日(火) 学校教育課 不登校サポート委員会	【利用者数：20名】
7月29日(金) 学校教育課 泉佐野市人権教育研究会	【利用者数：60名】
8月4日(木) 泉佐野市教育委員会 人間関係づくり研修	【利用者数：20名】
8月30日(火) 教育総務課文化財係 樫井東地区共有文書調査	【利用者数：10名】
8月31日(水) 教育総務課文化財係 樫井東地区共有文書調査	【利用者数：10名】
9月8日(木) 教育総務課文化財係 奥家史料調査	【利用者数：5名】
9月9日(金) 教育総務課文化財係 奥家史料調査	【利用者数：5名】
9月23日(金) 教育総務課文化財係 奥家史料調査	【利用者数：5名】
10月26日(水) 泉佐野市教育委員会 人間関係づくり研修	【利用者数：20名】

11月24日(木) 泉佐野市教育委員会 泉佐野市人権教育研究会 【利用者数:40名】
 12月8日(木) 泉佐野市教育委員会 泉佐野市人権教育研究会 【利用者数:30名】
 平成29年1月12日(木) 泉佐野市教育委員会 泉佐野市人権教育研究大会打ち合わせ 【利用者数:30名】
 平成29年1月17日(火) 泉佐野市教育委員会 スクール・エンパワーメント推進事業に係る3学期訪問
 【利用者数:4名】
 平成29年1月24日(火) 大阪府文化財センター 安全衛生委員会 【利用者数:10名】

13. 書籍の販売

歴史館発行の常設展・特別展の図録等の書籍の販売に協力した。

14. 利用者数一覧表

(平成28年度)

区分	入館者数 (名)	館外 自主事業 利用者 (名)	講師依頼 による 利用者 (名)	合計	備考
常設展	1,201	0	81	1,282	53日間
割合(%)	12.8				
春季館蔵品展	899	0	0	899	26日間
割合(%)	8.9				
春季特別展	1,663		236	1,899	50日間
割合(%)	18.9				
夏季館蔵品展	1,311	35	25	1,371	37日間
割合(%)	13.7				
秋季特別展	1,564	84	77	1,725	46日間
割合(%)	17.2				
特別展示	951	0	0	951	33日間
割合(%)	9.5				
冬季企画展	1,481	0	433	1,914	48日間
割合(%)	19.0				
合計	9,070	119	852	10,041	293日間
割合(%)	100.0				

平成27年度実績	8,755	792	518	10,065	289日間
----------	-------	-----	-----	--------	-------

VII 日本民家集落博物館事業

1. 展示事業

民家や展示室を活用して、各種展示を開催した。

(1) 常設展示

- ① 第一ブロック：国指定文化財を中心とするエリアでは下記文化財を展示公開した。

国指定重要文化財 = 摂津能勢の民家、信濃秋山の民家、日向椎葉の民家

国指定重要有形民俗文化財 = 飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財 = 奄美大島の高倉

未指定 = 河内布施の長屋門、堂島の米蔵

その他 = 戦国期の五輪塔、地蔵

また、「セミナーハウス」を設置している。

- ② 第二ブロック：大阪府指定文化財を中心とするエリアでは下記文化財を展示公開した。

大阪府指定有形文化財 = 大和十津川の民家、越前敦賀の民家、南部の曲家

大阪府指定有形民俗文化財 = 小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定 = 北河内の茶室、刳舟（奄美のサバニ・島根のソリゴ）

- ③ 「むかしのくらし展示」

稲作に関係する民具を展示するとともに、「昭和の部屋」として昭和30年代の一部屋を再現している。

石臼体験コーナーを併設。

(2) 市民展示

地域の文化サークルや団体・個人の文化活動の発表の場として、展示室や民家をギャラリーとして活用することにより地域に開かれた博物館を目指した。

- ① 「春のてまり展」 場所：堂島の米蔵

ア. 開催概要 日本てまりの会「都てまり」による、創作てまりを展示した。

イ. 開催期間 平成28年4月3日（日）～4月17日（日）

- ② 「北摂界隈の風景展」 場所：堂島の米蔵

ア. 開催概要 古民家や北摂界隈の風景画と陶芸の作品展。

イ. 開催期間 平成28年5月14日（土）～5月29日（日）

- ③ 「紙すき工房どんぶり作品展」 場所：南部の曲家

ア. 開催概要 障がい者と支援グループによる絵画と書の作品を展示した。

イ. 開催期間 平成28年8月20日（土）～9月4日（日）

- ④ 「古民家二人展」 場所：堂島の米蔵

ア. 開催概要 日本民俗建築学会大会に協賛し、古民家のスケッチやイラスト作品を展示した。

イ. 開催期間 平成28年10月8日（土）～10月23日（日）

- ⑤ 「紙で描く夢・切り絵展」 場所：堂島の米蔵

ア. 開催概要 藤原公夫製作による切り絵作品を展示した。

イ. 開催期間 平成28年10月29日（土）～11月13日（日）

- ⑥「游心会展」 場所：日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、大和十津川の民家
 ア. 開催概要 「游心会」会員による書道作品を展示した。
 イ. 開催期間 平成28年11月5日(土)～11月13日(日)
- ⑦「能・狂言面展」 場所：堂島の米蔵
 ア. 開催概要 「遊創工房」製作による能面作品を展示した。
 イ. 開催期間 平成28年11月17日(木)～11月27日(日)
- ⑧ 彫刻と切り絵展「微笑み仏二人展」 場所：堂島の米蔵
 ア. 開催概要 地蔵などの彫刻と切り絵作品を展示した。
 イ. 開催期間 平成28年12月3日(土)～12月18日(日)
- ⑨「みんなのボランティア展覧会」 場所：堂島の米蔵・日向椎葉の民家
 ア. 開催概要 当博物館のボランティア活動をしていただける方々の作品展。
 イ. 開催期間 平成29年1月14日(土)～1月29日(日)
- ⑩「布・古着・包紙達の再生アート展」 場所：堂島の米蔵・日向椎葉の民家
 ア. 開催概要 綿貫桂子氏製作の和紙や着物をリフォームした作品の展示。
 イ. 開催期間 平成29年3月1日(水)～3月12日(日)
- ⑪「ペン画展」 場所：堂島の米蔵・日向椎葉の民家
 ア. 開催概要 古民家や北摂界隈の風景スケッチ作品の展示。
 イ. 開催期間 平成29年3月11日(土)～3月26日(日)

(3) 企画展示

- ①「陳国棟作品展Ⅱ」 場所：日向椎葉の民家
 ア. 開催概要 中国人留学生による中国貴州省の伝統的な民家や町並みを紹介するスケッチ展。
 イ. 開催期間 平成28年10月1日(日)～10月16日(日)
- ②企画展関連講座「中国秘境探訪」 場所：日向椎葉の民家
 ア. 開催概要 陳国棟氏が調査した中国貴州省の伝統的建築について講演を行った。
 イ. 開催期間 平成28年10月2日(日)
- ③伝統芸能公演「文楽公演」 場所：飛騨白川の民家
 ア. 開催概要 「文楽」の招致公演を文楽協会の協力により実施した。
 イ. 開催期間 平成29年3月18日(土)

2. 各種催し開催事業

“親しまれる博物館”のための企画として、次の事業を実施した。

(1) 季節行事

日本に伝わる四季折々の行事に親しんでもらうため、民家を活用して下記の催しを行った。

行事名	開催期間	開催場所	備考
こいのぼりと 五月人形飾り	4月22日(金)～ 5月22日(日)	飛騨白川の民家前庭 越前敦賀の民家	

ようか日	5月1日(日)～ 5月8日(日)	摂津能勢の民家	
七夕かざり	7月2日(土) ～7月7日(木)	大和十津川の民家縁側	
お盆飾り	8月11日(木・祝)～ 8月14日(日)	日向椎葉の民家 信濃秋山の民家	
正月飾り	1月5日(木)～ 1月15日(日)	館内各民家	
ふるさとのお雑煮会	1月8日(日)	飛騨白川の民家	雑煮販売 49食
桃の節句・雛飾り	2月18日(土)～ 3月20日(月・祝)	越前敦賀の民家	

(2) 参加体験型事業

来館者自らが体験できる催しを、民家等を会場に下記の通り実施した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導者 参加者
親子たけのこ掘り	4月10日(日)	館内竹林	博物館スタッフ 約60名
むかしの遊び(コマ作り、 すだれ作り、万華鏡、折り 紙、竹馬、腹話術を聞いて みよう)	4月30日(土)・ 5月1日(日)・3日(火・祝)・ 4日(水・祝)・5日(木・祝)・ 7日(土)	館内広場 日向椎葉の民家	ボランティア 約334名
養蚕体験糸つむぎ	8月21日(日)	飛騨白川の民家	博物館スタッフ 25名
紙すき体験	8月20日(土)	飛騨白川の民家	紙すき工房 どんぶり10名
はたおり体験	10月29(金)・29(土)・30(日)	南部の曲家	かるがも広場 80名
みんかの餅つき	2月5日(日)	日向椎葉の 民家前	ボランティア 16名
コマ遊び	4月2日～7月2日・9月3日～ 12月3日・2月18日～3月25 日の各土曜日29回実施	日向椎葉の 民家前広場	ボランティア 751名
石臼体験	4月3日～6月19日・9月3日～ 12月11日・1月15日～3月19 日の第1～3日曜日28回実施	石臼コーナー	ボランティア 227名
ゆかた・きものでみんか	6月21日・6月28日・7月5日・ 9月23日・11月15日・11月29 日・3月14日の火曜日7回実施	越前敦賀の民家	博物館 スタッフ 13名

みんなかで歌おう	6月25日・7月9日・7月23日・ 8月27日・9月10日・9月24日・ 10月8日・11月12日・11月26 日の土曜日9回実施	日向椎葉の民家	ボランティア 72名
----------	--	---------	---------------

(3) 展示民家を活用しての催し

民家を会場として、音楽、古典芸能、昔話、茶会などの催しを行った。文化活動団体に会場を提供することで、民家により親しんでもらうための活用を図った。

1) 市民オープンイベント

① 懐かしの歌をみんなで歌おう

ア.内 容 松田洋子と酒井健太郎の伴奏で文部省唱歌を歌う催し。

イ.実施日 4月2日(土)

ウ.場 所 小豆島の農村歌舞伎舞台

② しの笛桜コンサート

ア.内 容 「笛こるり」によるしの笛での民謡やわらべ歌のコンサート。

イ.実施日 4月3日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

③ 弦楽アンサンブルコンサート

ア.内 容 「センチュリー・ユースオーケストラ」有志による演奏会。

イ.実施日 4月10日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

④ フォークコンサート

ア.内 容 フォークグループ「バガボンズ」によるオリジナル曲コンサート。

イ.実施日 4月29日(金・祝) ・11月6日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑤ 絵巻物語とマジック

ア.内 容 「SA 豊中・観覧車」による絵巻物語とマジック。

イ.実施日 5月29日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑥ むかし話を聞きましょう

ア.内 容 「豊中子ども文庫」による日本の昔話の語り。

イ.実施日 6月5日(日)・10月29日(土)・3月20日(月・祝)

ウ.場 所 日向椎葉の民家・越前敦賀の民家・飛騨白川の民家

⑦ 宮澤賢治の童話がたり～朗読とチェロの夕べ～

ア.内 容 岩手県大阪事務所の協力による童話語りとチェロ演奏。

イ.実施日 8月20日(土)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑧ みんな朗読会

ア.内 容 朗読グループ「雲」による純文学の朗読会。

イ.実施日 9月25日(日)・3月19日(日)

ウ.場 所 南部の曲家・大和十津川の民家

⑨ 落語で笑ろうて民家

ア.内 容 「大阪百楽の会」による落語会。

イ.実施日 10月2日(日)

ウ.場 所 大和十津川の民家

⑩ 古民家朗読会

ア.内 容 朗読グループ「でくの工房」による純文学の朗読会。

イ.実施日 10月29日(土)～30日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

⑪ 紙芝居と小さな音楽会

ア.内 容 オカリナグループ他による文部省唱歌コンサートと紙芝居。

イ.実施日 3月12日(日)

ウ.場 所 日向椎葉の民家

2) 博物館ボランティア連携イベント

①お茶会

ア.内 容 ボランティアの協力を得て茶室を公開し、茶会を開催。

イ.実施日 4月2日、16日、30日、5月7日、21日、6月4日、18日、
7月2日、16日、9月3日、17日、10月1日、15日、
11月5日、19日、12月3日、17日、1月21日、
2月18日、3月18日 計20回

ウ.場 所 北河内の茶室

②民家集落わくわくワークまつり

ア.内 容 「服部緑地10月祭」に協賛し、親しめる博物館としてPRするため、ワークショップ、民家のふるさと物産展、模擬店、コンサート、カフェ等を実施した。(当日参加者数 1,034名)

イ.実施日 10月24日(土)

③春の敬老フェア&民家で甘酒

ア.内 容 毎月15日に実施しているアクティブシニアの日(65歳以上入館料半額)を2日間に拡大するとともに、ボランティアの協力を得て、越前敦賀の民家の囲炉裏端で甘酒のサービスを行った。(期間中シニア入館者140名、甘酒配布数80)

イ.実施日 平成29年3月4日(土)～3月5日(日)

3. 普及啓発事業

(1) 民家解説等の開催

①民家解説

ア.内 容 当館の20名のボランティアが、館内のいずれかの民家において、囲炉裏を焚きながらその民家について来館者に解説を行った。

イ.期 間 通年（開館日毎日）

②民家特別公開

ア.内 容 安全面への配慮から、通常未公開としている箇所を、ボランティアの協力を得て、特別公開した。

イ.期 間 通年（毎週火曜日午後）

ウ.場 所 飛騨白川の民家二階、北河内の茶室

(2) 囲炉裏体験

ア.内 容 41名のボランティアが、囲炉裏・竈に火を入れ、来館者へ囲炉裏体験サービスを行うとともに、民家の燻蒸に努めた。

イ.期 間 通年（開館日毎日）

ウ.場 所 飛騨白川の民家、日向椎葉の民家、摂津能勢の民家、
信濃秋山の民家、南部の曲家、越前教賀の民家

(3) 連続講座「民家集落セミナー」

民家や町並み、日本の暮らしについて考えを深める講演会を開催した。

第一回 「南西諸島の住まいにみる女性原理」 森 隆男（関西大学教授）

開催日：平成28年5月21日（土）

第二回 「フランス・オランダ・ベルギー新旧博物館の魅力」 瀧端真理子（追手門学院大学教授）

開催日：平成28年5月22日（日）

第三回 「南太平洋の民家」 杉本尚次（国立民族学博物館名誉教授）

開催日：平成28年5月25日（土）

第四回 「京都洛北・丹波地域の民家と町並」 大場 修（京都府立大学教授）

開催日：平成28年6月26日（日）

(4) 日本民俗建築学会シンポジウム「保存民家の活用と市民参加」

ア.内 容 一般社団法人日本民俗建築学会のシンポジウムを、当館を会場に開催し、博物館ボランティア代表により活動報告を行うとともに、北摂の古民家保存施設のボランティア代表と意見交換を行う機会とした。

イ.開催日 10月22日（土）

ウ.場 所 日向椎葉の民家

4. 学校教育連携事業

(1) 遠足等校外学習の受け入れ

97校 7,140名

(2) 小学校の体験学習

ア.内 容 小学3年生社会科「昔の暮らし」・4年生社会科「暮らしの移りかわり」単元と連動し、

民家や民具を活用した独自の体験学習プログラムを実施した。

イ.実施日 平成29年1月17日(火)他

ウ.受入 豊中市立東豊中小学校他 計7校 561名

(3) 中学生の職場体験学習

ア.内容 豊中市立第17中学校2年生の職場体験実習を受け入れ、地域の学校との連携を深めた。

イ.期間 平成28年11月8日(火)～10日(木)

ウ.受入人数 2名

5. ボランティア活動事業

ボランティアを募集し、その援助により館の諸活動の充実を期するとともに、地域社会に生涯学習の場を提供した。今年度は、73名が活動した。(新規登録者13名)

6. 施設整備事業

(1) 園路等の補修

ア.内容 信濃秋山の民家階段の整備を行った。

イ.工事期間 平成28年2月4日(木)～3月24日(木)

(2) 竹林キーパーの活動開始

ア.内容 館内の竹林の伐採・整備活動を専門に行うボランティアを新たに受け入れた。

イ.活動日 平成28年4月6日他の毎月第1・第3水曜 計21回

7. 広報事業

(1) 広報リーフレットの作成

「催し案内」を定期的に作成し、関係機関・団体に配布し広報に努めた。

項目	発行月	部数
秋・冬の催し案内(9月～3月)	7月	13,000部
春・夏の催し案内(4月～9月)	2月	13,000部

(2) インターネットによる広報

センターHPや大阪府・豊中市広報と連携し、当館の概要や催し案内の、インターネットによる広報に努めた。また、当館のホームページの更新を適時図り、「催し案内」や「花だより」などは最新の情報が掲載されるよう充実に努めた。

(3) DVD・ビデオによる広報

「堂島の米蔵」に、博物館紹介のDVD・ビデオの視聴コーナーを設けた。

また、学校等にDVD・ビデオの貸出を行い広報に努めた。

(4) 諸団体との連携

豊中市広報公聴課、地元ケーブルテレビ・FMラジオ、ミニコミ紙、北大阪急電鉄、緑地公園管理事務所および服部緑地「みどり・文化・地域」を育てる協議会と連携し、効果的な広報に努めた。また、阪急友の会、府教職員互助組合等各種団体のメディアを通じての広報も実施した。

(5) 資料の作成・頒布

「民家の案内」「民俗（上・下巻）」を頒布した。（民家の案内 210 冊、民俗 11 冊）

また、小中学生向け案内マップ及び英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語、スペイン語による案内マップを作成し配布した。

8. 資料収集・研究事業

移築民家や収蔵民具に関する資料を収集するとともに、地域住民と連携し、広く情報を募りながら必要な資料の収集を行った。

9. 国登録有形文化財の申請

下記の建物について、国の文化審議会は、平成 29 年 3 月 10 日開催の同審議会文化財分科会の審議・議決を経て、大阪府内第 87 次登録有形文化財として登録するよう文部科学大臣に答申があった。

河内布施の長屋門・堂島の米蔵・北河内の茶室

10. 入館者数及び入館料収入一覧表

(平成 28 年度)

月	入館者数(人)	入館料収入(円)税込	開館日(日)
4月	5,170	1,855,450	26
5月	4,720	1,282,800	26
6月	1,687	439,900	26
7月	2,313	559,400	27
8月	1,215	335,500	26
9月	1,885	516,250	26
10月	4,635	1,026,050	26
11月	3,438	1,099,400	26
12月	1,608	454,850	22
1月	2,536	506,350	23
2月	3,158	795,050	24
3月	3,451	1,017,500	27
合計	35,816	9,888,500	305

<年度比較>

	入館者数	入館料収入	開館日数
平成27年度	38,684人	11,098,850円	308日
平成26年度	35,507人	9,699,650円	303日
平成25年度	34,962人	8,721,650円	304日